TOCLAS

トクラスドレッサー

取扱説明書

保証書付

このたびは、トクラスドレッサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全にお使いください。
- この取扱説明書を大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、この説明書の 55 ページにあります。
  販売店名・お引渡し日などが記入されていることを必ずお確かめください。

各部のなまえ

本図は、代表的なシリーズを表しています。
シリーズや選択アイテム等により、各部の位置や形状は異なります。

参照先マークの説明

- 使い方
- お手入れ
- 調整方法
- 専用 専用取扱説明書

トールキャビネット P20 P34 P42

ウォールキャビネット P22 P34 P42

照明・照明カバー P27 P37

ミラー P25 P33

ミラーキャビネット P26 P34 P41

水栓金具 専用 P19 P31

カウンター・洗面ボウル P31

引出し P20 P34 P43

ホルムアルデヒド対策

ホルムアルデヒドは、主に接着剤、塗料、防腐剤などに用いられ、「シックハウス症候群」の原因物質の一つとして考えられています。建築基準法により、ホルムアルデヒドを放散する建材の使用制限が設けられておりますが、弊社ではシステムキッチン、洗面化粧台において、使用面積制限を受けない最高等級F☆☆☆☆の商品をご用意しております。『ホルムアルデヒド発散区分表』などの詳細資料につきましては、お客様相談室へお問い合わせください。

4VOC 対策

シックハウスの原因となりうる化学物質であるVOC（揮発性有機化合物）のうち、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの４つのVOC（4VOC）について、各種建材の室内における放散性能の判断基準値と試験方法が「建材からのVOC放散速度基準」として制定されました。
上記に対応してお客様にVOCによる室内空気汚染の影響が小さい製品を選定いただく際の目安となるよう、企業や団体により、「4VOC基準適合」自主表示が進められています。当社では、2010年４月より、4VOC基準適合商品の情報提供を開始しています。

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散区分に関する表示
「住宅部品表示ガイドライン」キッチンバス工業会指針による

商品名	洗面化粧台	
会社名	トクラス株式会社	
ホルムアルデヒド発散区分	F☆☆☆☆	
製造番号 商品ID	洗面ボウル下キャビネット添付の 製番ラベルに記載	
ホルムアルデヒド発散区分 （材料詳細）	パーチクルボード	F☆☆☆☆
	MDF	F☆☆☆☆
	接着剤	F☆☆☆☆
問い合せ先	0120-808194（お客様相談室）	

VOC放散性能に関する表示　内装仕上げ部および下地部分とも
住宅部品VOC表示ガイドラインによる

商品名	洗面化粧台
VOC放散性能	4VOC基準適合（木質建材）

※4VOCとはトルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示す。

こんなときは、ここをチェック♪

何キロまで置いてもいいの？
P13「各部の最大積載量と収納の目安」

お手入れのコツを知りたい！
P29「日ごろのお手入れ」

引出しがぴったり閉まらない
P41「各部の調整方法」

使っていて疑問に感じたら？
P47「よくあるご質問 ドレッサー Q&A」

修理をお願いしたい
裏表紙「お客様相談窓口」

専用

組み込まれる機器・水栓には、専用の「取扱説明書」が付属されています。ご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書および、製品本体に表示されている事項をお守りください。

1

1 トクラスドレッサーシリーズ 4

2 安全のために必ずお守りください 6
- 警告表示と注意表示について 6
- ご使用の前に点検をしてください 7
- ご使用時は必ずお守りください 8
- マルチユースボウル ペットプランに関する注意事項 12
- 各部の最大積載量と収納の目安 13

3 ご使用上のお願い 14
- 本体 14
- カウンター・洗面ボウル 15
- キャビネット 16
- 水栓 17
- マルチユースボウル（ペットプラン含む） 18
- レストシリーズについてのお知らせ 18

2

ご使用方法 19
- 水栓金具 19
- ポップアップ排水栓 19
- キャビネット 20
  - 引出しの取り外し・取り付け 20
  - 棚板 22
  - 縦仕切り板・ディバイダー／小物ポケット 23
  - 配管カバー／点検口板 24
- ミラー 25
- ミラーキャビネット 26
  - トレー・乾くん棚 26
  - 照明スイッチ・コンセント 27

3

1 日ごろのお手入れ 29
- お手入れの前に 29
- お手入れのコツ 30
- しっかりゾーン<毎日お手入れするところ> 31
  - カウンター・洗面ボウル／水栓金具 31
- こまめにゾーン<汚れがたまりやすいところ> 32
  - 排水口 32
  - 鏡／クリアコートミラー 33
- きちんとゾーン<汚れに気づきにくいところ> 34
  - 扉・引出し・トレー 34
  - 水受けタンク・水受けトレー 35
  - ミラーキャビネットの電源プラグ／排水装置 36

2 照明の交換 37
- LED 照明について 37
- 適合する蛍光灯・グローランプ 38
- 照明カバーの取り外しと取り付け 38
- 交換のしかた 40

4

各部の調整方法 41
- 取手 41
- 鏡扉 41
- 開き扉 42
- 引出し 43
  - プラスチック引出しの場合／金属引出しの場合 44
  - 金属引出し<縦長カバー付タイプ>の場合 45
  - 金属引出し<横長カバー付タイプ>の場合 46

5

1 よくあるご質問 ドレッサー Q&A 47

2 アフターサービスのご案内 50

3 定期的な点検と部品交換について 52

4 トクラスオンラインショップのご案内 54
- 保証書 55
- お客様相談窓口 裏表紙

1-1. トクラスドレッサーシリーズ

トクラスドレッサーには、次のシリーズがあります。
本書をお読みいただく前に、お使いの製品のシリーズ名をご確認ください。

■ アフェットセレクトボウルタイプ

< マルチユースボウル > 大容量タイプ

< 洗面ボウル >

< 洗髪ボウル >

< マルチユースボウル ペットプラン >
ペットプランの場合、マルチユースボウルにリードフックが付いています。
小型のペットのシャンプーとドライヤーがけを行えます。

■ アフェット・ベッセルボウル

■ アフェット

< フロートタイプ >

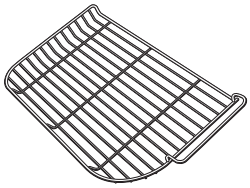
■レスト

■エポック /EJ

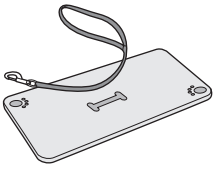
※ エポックと EJ では鏡の仕様が異なります。

■ジョリエ

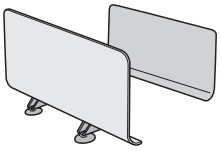
< マルチユースボウル用オプション >



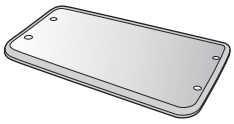
水切りラック



愛犬セット



水はねガード



ドライヤーボード

知っておいていただきたいこと

クリアコートミラーについて

◎ クリアコートミラー表面には、特殊なコーティングが施されていますので、
以下のことにご注意のうえ、お使いください。
また、特殊なコーティングにより、鏡の左右が波打ち状に見えることがあります。

ご使用時の注意

鏡表面を強くこすったり、硬い物を当てない
鏡表面にテープや吸盤などを貼らない

いずれの場合も、コーティングがはがれ、くもり止め効果がなくなる場合があります。

毛染剤・化粧品・歯磨き粉・シャンプー・うがい薬等を付けない

鏡表面が変色（着色）し、取れなくなります。
万一付いてしまった場合には、ただちに柔らかい布で拭き取り、
水で薄めた食器用中性洗剤（無色透明なもの）を含ませた布で拭いてください。
その後、洗剤が残らないように拭いてください。

お手入れの注意

クレンザーや研磨剤入りの洗剤を使用しない
硬い布・汚れた布・メラミンスポンジ・たわし（ナイロンたわし含む）で表面を強くこすらない

鏡の表面に傷が付くおそれがあります。

日常のお手入れ	水滴や汚れがついたら、すぐに柔らかくきれいな布で拭き取ります。
汚れが気になるとき	水で 5 倍に薄めた食器用中性洗剤（無色透明なもの）を含ませた布で汚れを拭き取り、その後、洗剤が残らないように柔らかい布で拭いてください。

水漏れ確認	水漏れにより、キャビネットの破損や、家財が損傷します。定期的に（2 回以上 / 年）配管周り（水栓と水道管の接合部・排水装置）を点検し、水漏れがないかを確認してください。

扉（丁番）・ねじの確認	各部のねじにゆるみがあるままご使用になると、扉や取手が落下し、けがをするおそれがあります。取手や丁番のねじにゆるみがないか、定期的に（2 回以上 / 年）確認してください。

1-2. 安全のために必ずお守りください

警告表示と注意表示について

◎ ここでは、製品の安全に関する重要な内容を記載しています。
人への危害・財産の損害を未然に防ぐため、記載内容を必ずお守りください。
◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
◎ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が損害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される危険・損害の程度」をいう。

◎ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

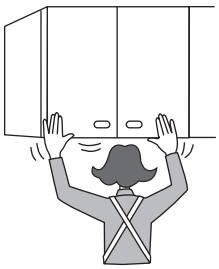
⃠	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
❗	製品の取り扱いにおいて、表示に基づく行為を強制する図記号です。

ご使用の前に点検をしてください

⚠ 警告

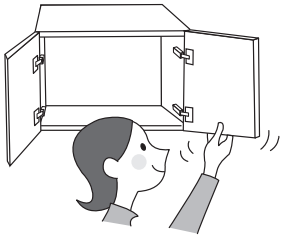
ウォールキャビネット・ミラーキャビネット・照明カバー・鏡扉・バニティキャビネットが確実に固定されているか確かめる。

しっかり固定されていないと、キャビネット類が落ちたり倒れたりしてけがをするおそれがあります。
がたつき等がありましたら、ただちにお買い上げの販売店にご連絡ください。



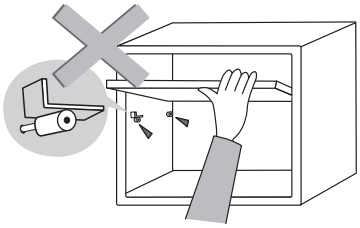
扉は確実に固定されているか確かめる。

しっかり固定されていないと、扉が落ちてけがをするおそれがあります。
がたつき等がありましたら、お買い上げの販売店または修理のご相談窓口（➡ P50）へご連絡ください。



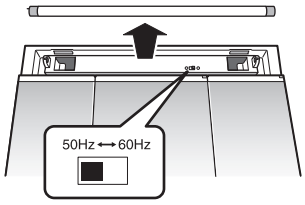
キャビネット内の棚板の棚受けは奥まで差し込む。

収納物や棚板が落下して、けがをするおそれがあります。
➡ P22「棚板」



使用地域の周波数に合わせる。

60Hz 用器具を 50Hz 地区で使用すると、火災の原因になります。
※インバータータイプには、切り替えスイッチはありません。（切替不要）LED 照明には、切り替えスイッチはありません。（切替不要）



安全にお使いいただくために
必ず確認してください。

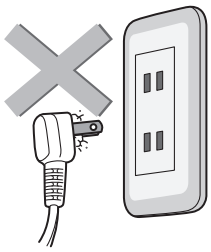
1-2. 安全のために必ずお守りください

ご使用時は必ずお守りください

⚠ 警告

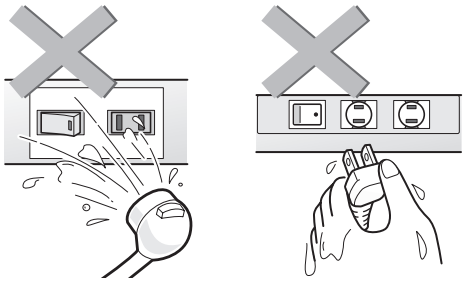
コンセントの差し込み口にチリやホコリを付着させたまま使用しない。

火災の原因になります。
乾いた布でよく拭いて確実に差し込んでください。



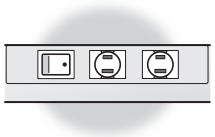
スイッチやコンセント、照明器具部分に水をかけたり、ぬれた手で触らない。

感電するおそれがあります。



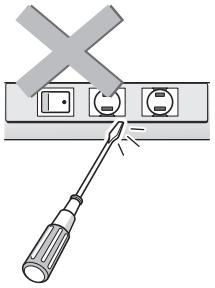
表示電力を超えない。

表示電力（1200W）を超えると火災の原因になります。
ミラーの内部と外部にコンセントがあるタイプは、
同時使用で 1200W を超えないようにしてください。



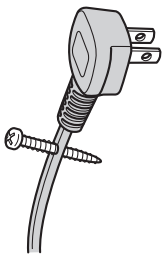
移設や分解・改造は行わない。

けが・発火・故障の原因になります。
移設・改造は、お買い上げの販売店へご相談ください。



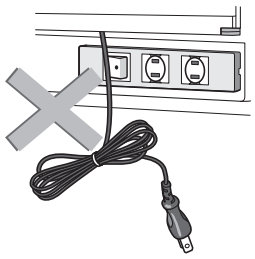
電気コードを傷付けない。

漏電・火災の原因になります。



電源コードを束ねたまま使わない。

電源コードが発熱し、火災の原因になります。

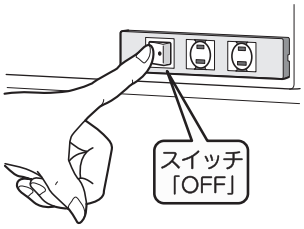


ご使用時は必ずお守りください（つづき）

⚠ 警告

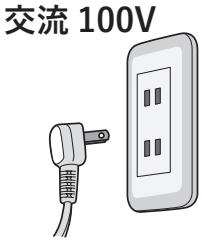
照明のランプ交換時やお手入れ時は、必ず電源を切る。

感電するおそれがあります。



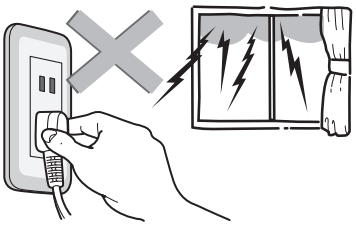
電源は交流 100V を使用する。

指定電圧以外を使用すると、過電流による火災の原因になります。



雷が発生しているときは、電源コードに触らない。

感電するおそれがあります。



鏡をタオルなどで覆わない。

発熱し、鏡が割れるおそれがあります。

くもり止めヒーターは使用後、必ずスイッチを切る。

長時間スイッチを入れたままにすると、過熱して、鏡が割れるおそれがあります。

異常を感じたら…
洗面化粧台から発煙したり、こげたような臭いがしたら、すぐに電源プラグを抜く、または元電源を切り、お買い上げの販売店または修理のご相談窓口（➡ P50）**まで連絡する。**

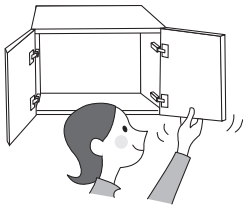
ご使用時は必ずお守りください（つづき）

⚠ 注意

扉や取手にがたつきがあるときは、丁番のねじ、取っ手用ねじを締め直す。

取手が落下して破損したり、けがをするおそれがあります。

➡ P41「取手」、P42「開き扉」



トレーは奥までしっかり押し込む。

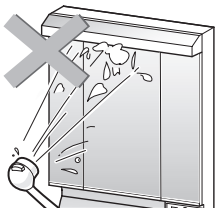
トレーが落下し、洗面化粧台を傷付けるおそれがあります。

水栓金具を使用の際は、専用の取扱説明書および製品本体に表示されている事項を守る。

必ず事前にお読みください。誤った使い方をすると、けがや故障の原因になります。

洗面ボウル以外の箇所へは水・湯をかけない、ぬらさない。

鏡が割れてけがをしたり、感電するおそれがあります。
ぬれてしまった場合は、乾いた布などで拭き取ってください。



鏡に水・薬品などが付着した場合は、すぐに拭き取る。

鏡が黒く変色する原因になります。

化粧品類は収納トレーや化粧品専用トレー以外に置かない。

変形・変色・割れのおそれがあります。

最大積載量を守り、不安定な物を載せない。

落下・破損により、けがをするおそれがあります。

➡ P13「各部の最大積載量と収納の目安」

鏡扉の開閉はゆっくり行う。

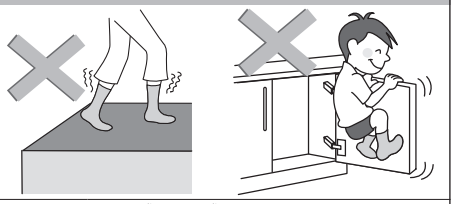
手を挟んでけがをしたり、破損するおそれがあります。

ご使用時は必ずお守りください（つづき）

⚠ 注意

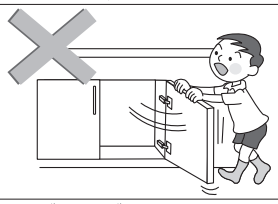
乗らない・ぶら下がらない。

転倒・破損の原因になり、けがをするおそれがあります。



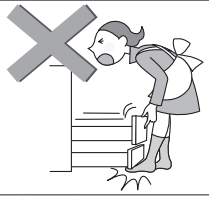
扉を大きく開けすぎない。

扉が外れて、けがをするおそれがあります。



引出しを開閉するときは、足を挟まないよう注意する。

足に引出し下端が当たり、けがをするおそれがあります。
開けるときは、立つ位置に注意してゆっくり開けてください。

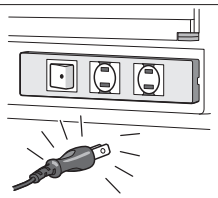


カウンターの角部に注意する。

小さなお子様の場合、頭をぶつけてけがをするおそれがあります。

長時間使用しないときは、必ず電源プラグを抜く。
電源プラグを抜くことが困難な場合は、元電源を切る。

万一の場合に、思わぬ事故を防ぐことができます。



鏡やミラーキャビネットに市販のフック吸盤などを取り付けない。

本体の破損や取付物の落下により、けがをするおそれがあります。

鏡に無理な力をかけない。

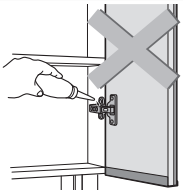
鏡が破損し、けがをするおそれがあります。

照明カバーの上に物を載せない。

物が落下し、けがをするおそれがあります。また火災の危険があります。

丁番には注油しない。

油（溶剤）が樹脂に付着すると、本体、鏡止め具が割れ、
鏡が落下するおそれがあります。

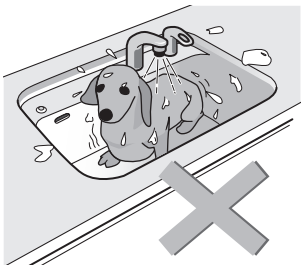


アフェット セレクトボウルタイプ マルチユースボウル ペットプランに関する注意事項

⚠ 注意

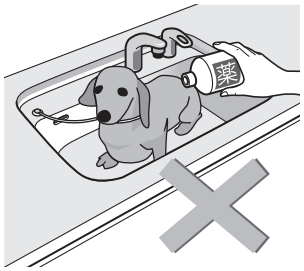
10kg 以上のペットを洗わない。

シャンプー時の水はねで、キャビネットが水膨れを起こす原因になります。



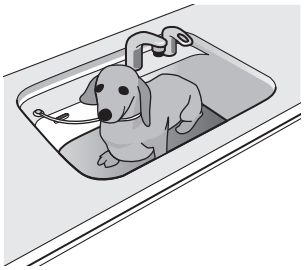
ペットの薬浴をさせない。

洗面ボウルが変質・変色する原因になります。



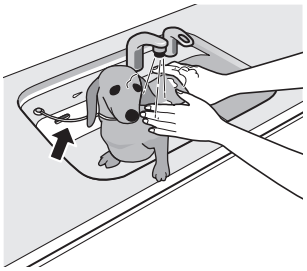
ペットを洗う場合は、必ずシャンプーマットを敷く。

ペットが足をすべらせ、けがをするおそれがあります。



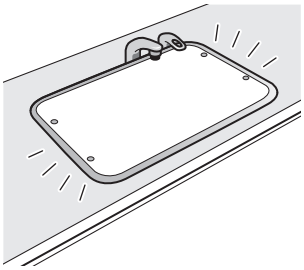
ペットを洗う場合やドライヤーをかける場合は、専用のリードでつなぎ、リードフックで固定する。

ペットが洗面化粧台から落ちて、けがをするおそれがあります。



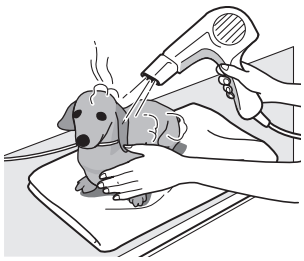
ドライヤーボードを使用するときは、洗面ボウル内にしっかりはまっていることを確認する。

ペットをのせた際、ドライヤーボードが落ちて、けがをするおそれがあります。



ドライヤーボードやカウンターでペットのドライヤーがけをする場合は、すべらないようにバスタオル等を敷く。

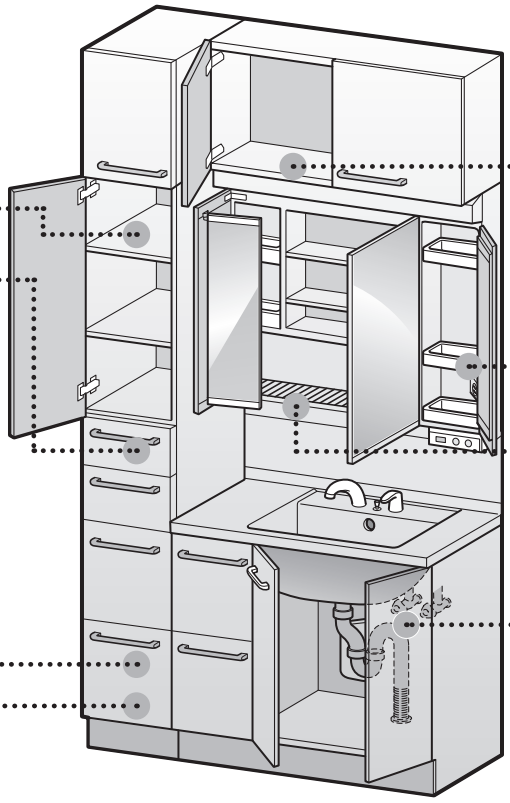
ペットがすべってけがをするおそれがあります。



各部の最大積載量と収納の目安

◎各部の最大積載量を守り、物を載せすぎないようにお使いください。
過度な荷重によって使い勝手が悪くなったり、破損・変形の原因になります。

※キャビネットの構成は、シリーズや製品の組み合わせによって異なります。



トールキャビネット ベースキャビネット

棚板	15kg
引出し	10kg

網カゴ
間口 15cm 用、45cm 用
3kg

下段引出し
レールの種類によって異なります。
- 下部レールの木製引出しの場合 **10kg**
- 上部レール引出し／下部レール引出しの場合 **20kg**

レールの種類については、P20「レールの種類」を参照してください。

ウォールキャビネット

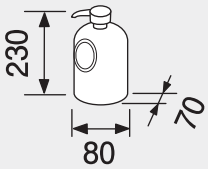
底板	20kg

ミラーキャビネット

トレー	1kg
乾くん棚	2kg
ドアポケット	3kg
小物ポケット	1kg

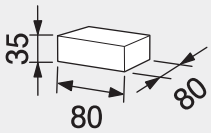
収納の目安にお使いください

シャンプーボトル



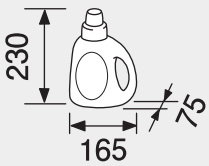
480ml 入
約 500g

固形石けん（紙ケース入）



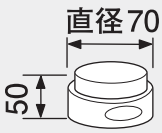
約 100g

液体洗剤



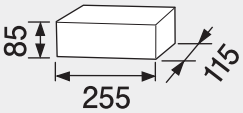
900g 入
約 1kg

クリーム入れ



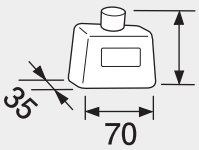
約 170g

ティッシュボックス



約 270g

ガラス容器

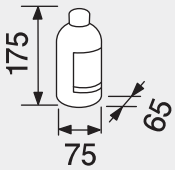


120ml 入
約 300g

灰皿（ガラス製）

約 750g

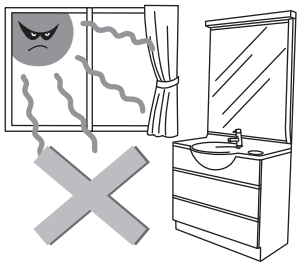
プラスチック容器



350ml 入
約 380g

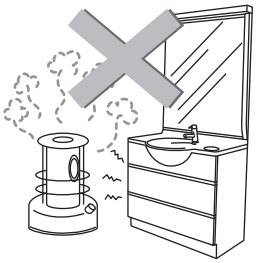
1-3. ご使用上のお願い

本体



直射日光が当たらないよう、工夫してください。

変色・変形の原因になります。

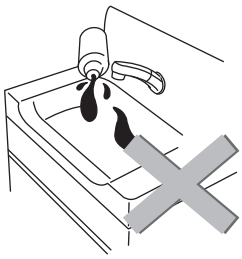


ストーブやヒーターを近付けないでください。

変色・変形の原因になります。

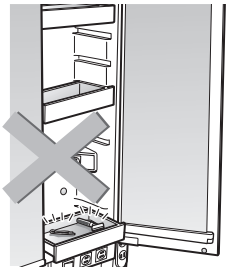
樹脂部を傷付ける洗剤・溶剤類は、絶対に使用しないでください。

水漏れや変色・破損の原因になります。



洗面化粧台（洗面ボウル・カウンター・扉・キャビネット・鏡）に、毛染液・パーマ液・整髪料・香水・マニキュア・除光液・化粧品類などの強い液体をこぼさないでください。

変色・変形・割れ・膨れなどの原因になります。
こぼれてしまったときは、ただちに拭き取ってください。



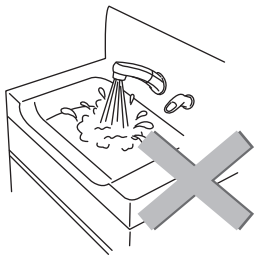
ヘアピンやかみそりの刃などの金属品を放置しないでください。

さびが発生し、取れなくなる場合があります。

カウンター・洗面ボウル

洗面ボウルに急に熱湯を注がないでください。

破損の原因になります。水を少しためてから注いでください。

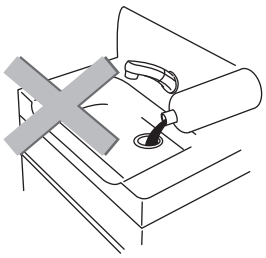


硬い物・重い物・鋭利な物を落とさないでください。

・傷が付いたり、漏水の原因になります。
・木製カウンターは、素地が露出し水膨れの原因になります。

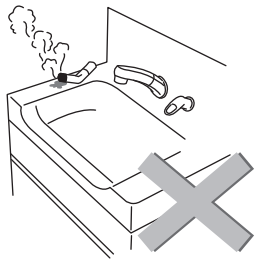
塩素系ヌメリ取り剤を使用しないでください。

カウンター・洗面ボウルやステンレス部品のさび・腐食・変色の原因となります。



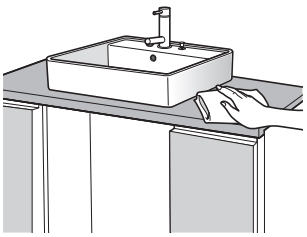
火のついたタバコを置かないでください。

こげ跡が付いたり、変色の原因になります。



木製カウンターが水やアルコールでぬれた場合は、ただちに乾いた布等で拭き取ってください。

カウンターにシミが付いたり、水膨れするおそれがあります。



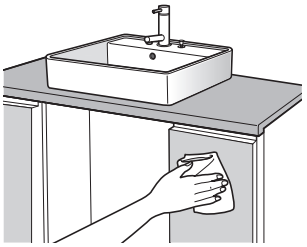
カウンター・ボウルの角や側面に硬い物を当てないでください。

・傷が付いたり、漏水の原因になります。
・木製カウンターは、素地が露出し水膨れの原因になります。

キャビネット

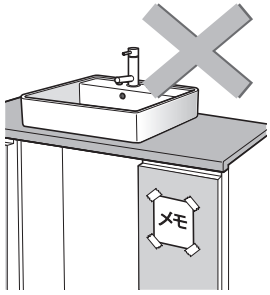
キャビネットや扉が水でぬれた場合はただちに乾いた布等で拭き取ってください。

キャビネットや扉が水膨れするおそれがあります。



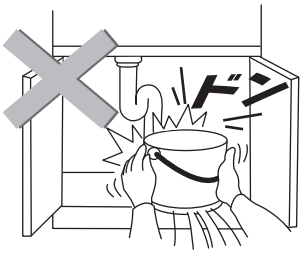
キャビネットや扉の表面に、テープやシール類を貼らないでください。

表面材がはがれる場合があります。



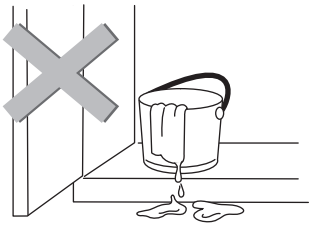
収納物は、洗面ボウルや排水装置に触れないようにしてください。

- 排水装置のナットがゆるんで、水漏れの原因になります。
- 収納物が倒れ、破損する場合があります。



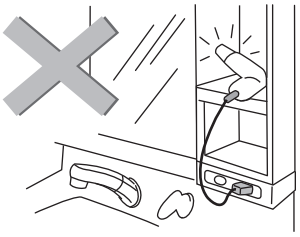
収納物は、ぬれたまましまわないでください。

水が垂れてキャビネットの表面が傷んだり、カビが生えたりするおそれがあります。



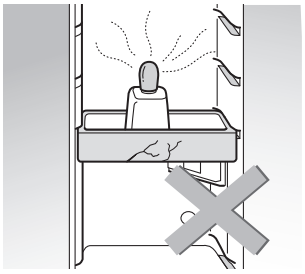
ドライヤー・ひげそり・電動歯ブラシなどを、コンセントに差したまま収納しないでください。

発熱し、変色・破損の原因になります。



キャビネット内に芳香剤を入れないでください。

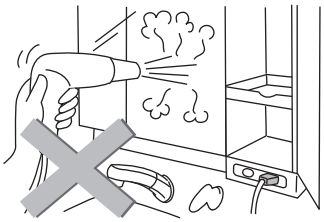
容器から飛散した芳香剤が原因で、トレーにひびが入ったり溶けて穴があくことがあります。



キャビネット（つづき）

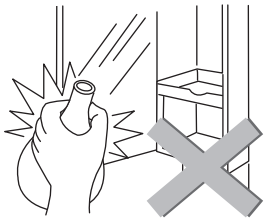
ドライヤーの熱風を直接当てないでください。

変形・変色の原因になります。



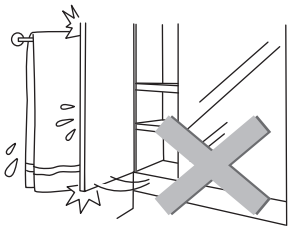
鏡や鏡の角に硬い物を当てないでください。

破損の原因になります。



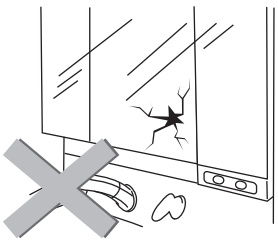
左右または片端にある鏡の可動範囲に、タオル掛けなどの物を取り付けないでください。

鏡が破損するおそれや、鏡が開かなくなり場合があります。



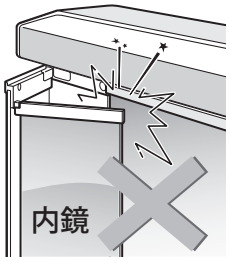
鏡に割れなどの破損が生じた場合は、そのまま使用しないでください。

衝撃や温度の変化などで、割れが全体に広がるおそれがあります。
お買い上げの販売店または修理のご相談窓口（➡ P50）へご連絡ください。



W ミラーを閉めるときは、内鏡が完全に閉まっていることを確認してください。

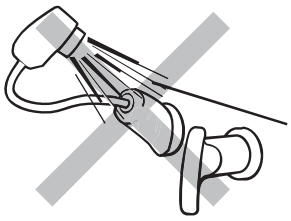
内鏡や中央鏡に当たり、鏡や丁番の破損の原因になります。



水栓　※詳しくは水栓付属の取扱説明書をご確認ください。

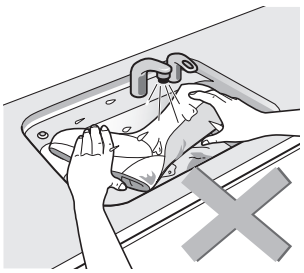
水栓本体やシャワー引出口に直接水をかけないでください。

水がキャビネット内に侵入し、キャビネットおよび家財が損傷するおそれがあります。

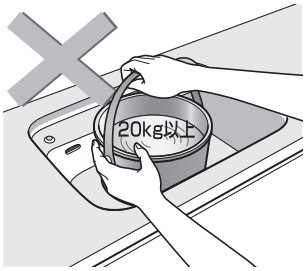


アフェット セレクトボウルタイプ マルチユースボウル（ペットプラン含む）

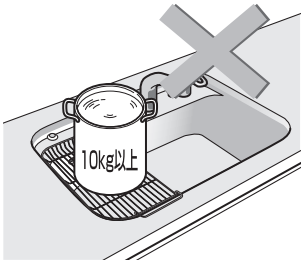
靴などを洗う場合は、洗面ボウルの外で砂や泥を十分落としてください。
また、排水管を詰まらせる物は、流さないでください。
洗面ボウルに傷が付くおそれや、排水管が詰まる原因になります。



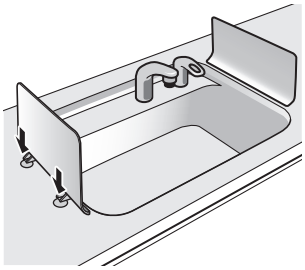
洗面ボウルに 20kg 以上の物を載せないでください。
破損するおそれがあります。



水切りラックには 10kg 以上の物は載せないでください。

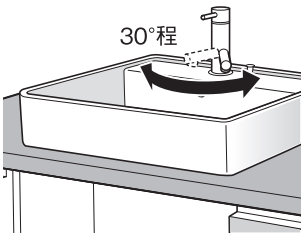


水はねガードは、吸盤をしっかり固定して使用してください。
落下により床が傷付いたり、水はねカードが破損するおそれがあります。



レスト レストシリーズについてのお知らせ

ご使用時に水栓が使いづらいと感じた場合は、吐水口の向きを変えることができます。（吐水パイプの向きを左右に 30°ほど変えると、使いやすくなる場合があります）
その場合には、お客様相談窓口（➡裏表紙）までご相談ください。なお、変更作業は有償となります。



2. ご使用方法

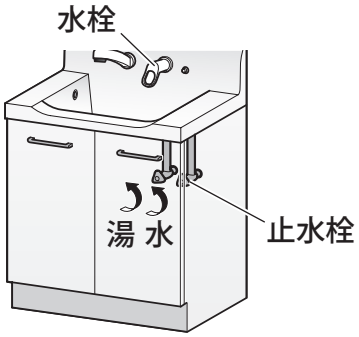
水栓金具

専用

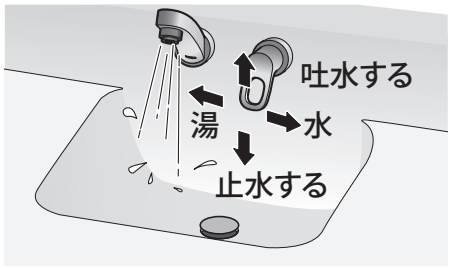
水栓金具には、専用の取扱説明書が付属されております。
詳しいご使用方法に関しては、そちらをご確認ください。

水・お湯が正常に出ることを確認してください。

❶ 止水栓を開く。



❷ 水栓レバーを操作して、水・お湯を出す。
水の勢いが強い場合は、止水栓で調整してください。

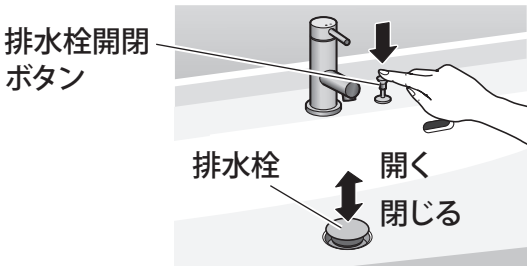


ポップアップ排水栓

ポップアップ排水栓とは、ボタン操作で開閉できる排水栓で、プッシュワンウェイ式とポップアップ式があります。

プッシュワンウェイ式 アフェット セレクトボウルタイプ アフェット アフェット フロートタイプ アフェット・C

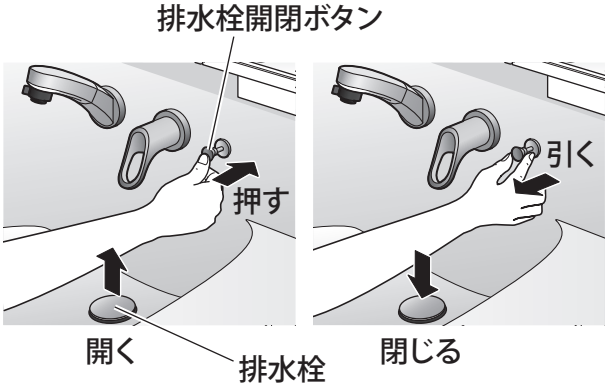
排水栓開閉ボタンを一度押すと排水栓が開き、
もう一度押すと閉じます。



排水栓の下にヘアキャッチャーが付いています。毛髪などをキャッチして、排水管の詰まりを防止します。排水栓を引き抜いて、お掃除してください。
➡ P32「排水口」

ポップアップ式 レスト エポック EJ

<エポック・EJ シリーズ>
排水栓開閉ボタンを押すと排水栓が開き、
引くと閉じます。
※レストシリーズは逆の動きをします。
（押す→閉じる、引く→開く）



※大量の泡が流れるとオーバーフロー穴から泡が出ることがありますが、異常ではありません。

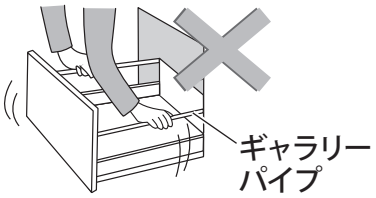
キャビネット

引出しの取り外し・取り付け

⚠ 注意

ギャラリーパイプを持って、引出しの取り外し、取り付けをしない。

ギャラリーパイプが外れて引出しが落下し、けがをするおそれがあります。



お願い

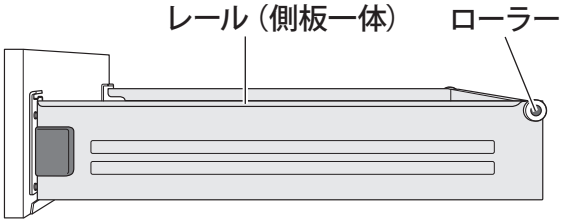
引出しを外す場合は、収納物をすべて取り出してから行ってください。

破損の原因になります。

レールの種類

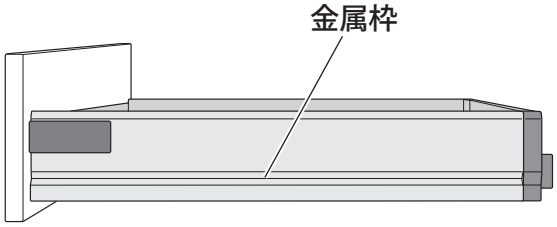
レールによって、取り外し・取り付け方法が異なりますのでご注意ください。

●上部レール引出し



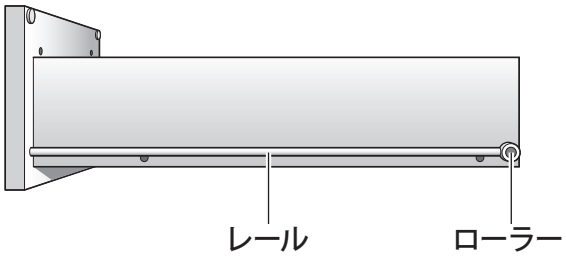
引出しの上部をキャビネットのレールに載せるタイプです。

●下部レール引出し



引出しの下部をキャビネットのレールに載せるタイプです。

●下部レールの木製引出し



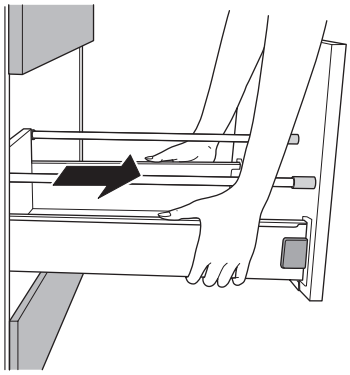
引出しの下部をキャビネットのレールに載せるタイプで、木製の引出しです。

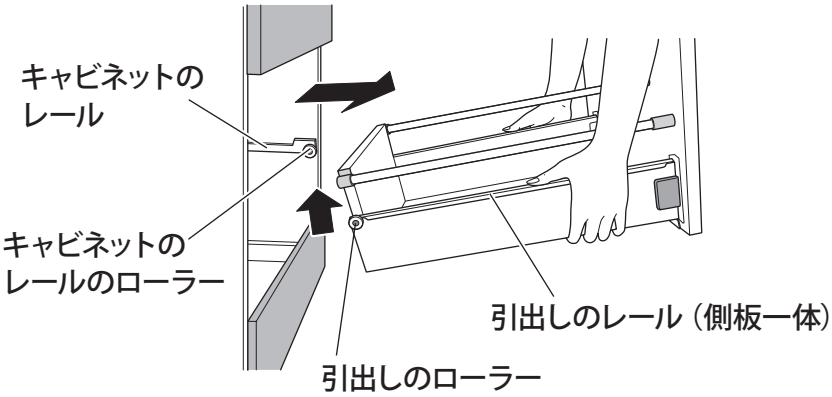
上部レール引出し

●取り外し

❶ 引出しを、手前に止まるまで引き出す。

❷ 両手で引出し本体を持ち、引出し全体を上に持ち上げてストッパーを外す。
そのまま手前へ引き抜く。





●取り付け

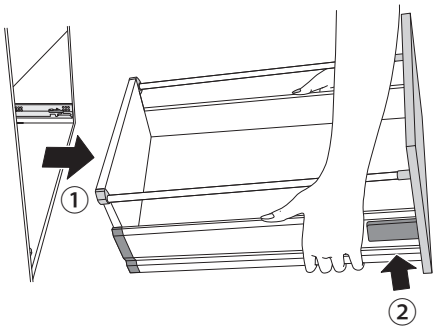
取り外しと逆の手順で行います。
引出しのローラー部分をキャビネットのレールのローラーに載せ、鏡板の中央部を押して奥まで押し込みます。

下部レール引出し

●取り外し

❶ 引出しを、手前に止まるまで引き出す。

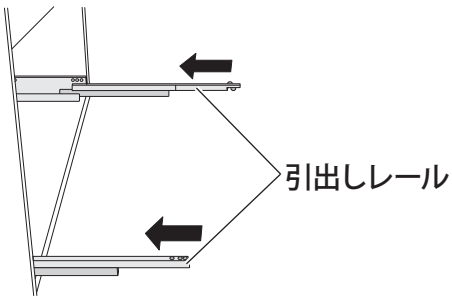
❷ 両手で引出し本体を持ち、手前を少し持ち上げる。
パチッと音がしてロックが外れたら、取り外す。

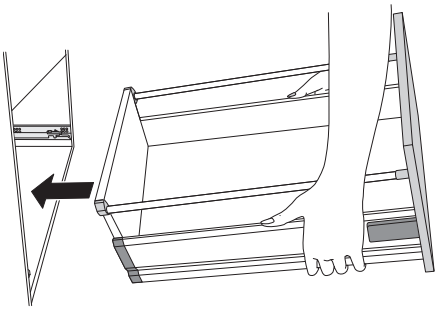


●取り付け

❶ 引出しレールを奥まで押し込む。

❷ レールの上に引出しを載せ、「カチッ」と音がするまで奥へ押し込む。



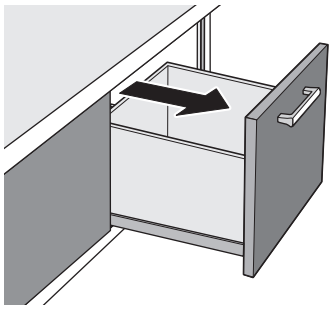


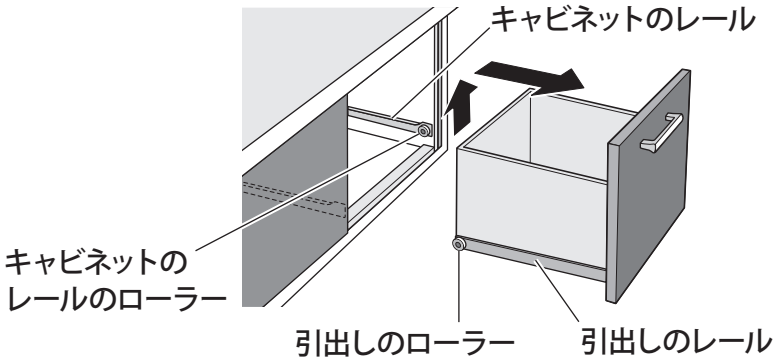
下部レールの木製引出し

●取り外し

❶ 引出しを、手前に止まるまで引き出す。

❷ 両手で引出し本体を持ち、引出し全体を上に持ち上げてストッパーを外す。
そのまま手前へ引き抜く。





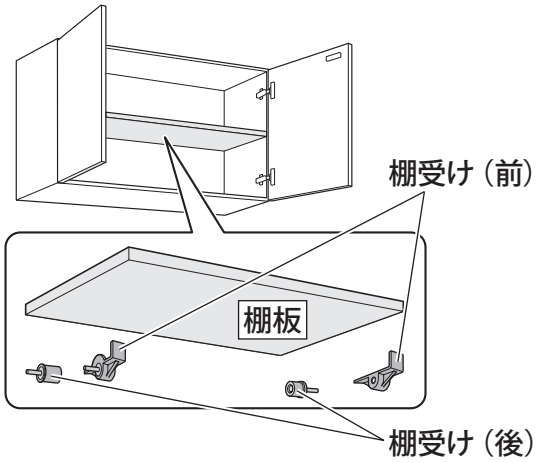
●取り付け

取り外しと逆の手順で行います。
引出しのローラー部分をキャビネットのレールのローラーに載せ、鏡板の中央部を押して奥まで押し込みます。

棚板

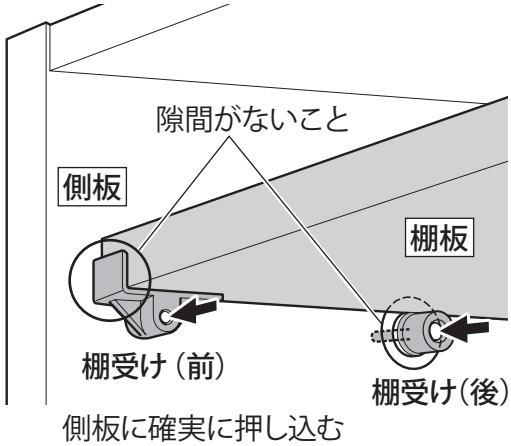
棚板の移動のしかた

❶ 棚板を外し、棚受け（4 個）を外す。
棚受けは、手前側用（前）と奥側用（後）の 2 種類があります。



※ 棚板は水平に持ち上げて外してください。

❷ 棚受けを移動先の穴に差し込み、棚板を載せる。
棚受けは、確実に押し込んでください。



※ 棚板はがたつかないようしっかり納めてください。

縦仕切り板・ディバイダー

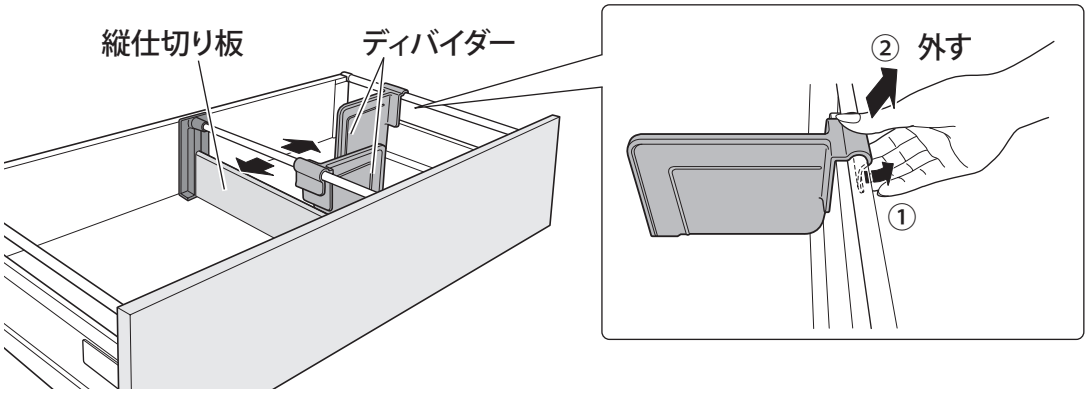
縦仕切り板やディバイダーを移動して、引出し内をお好みのレイアウトに仕切ることができます。

縦仕切り板 エポック

両端を持ち、片方ずつ交互にお好みの位置にずらします。少しずつゆっくりと動かしてください。

ディバイダー アフェット セレクトボウルタイプ アフェット アフェット フロートタイプ エポック

図のように、取り付け部を指で引き上げて取り外し、お好みの位置に取り付けます。



お願い

縦仕切り板を動かすときは、両端を持ち、片方ずつ交互にゆっくりとずらしてください。

小物ポケット アフェット セレクトボウルタイプ アフェット アフェット フロートタイプ エポック

小物ポケットの取り外し方

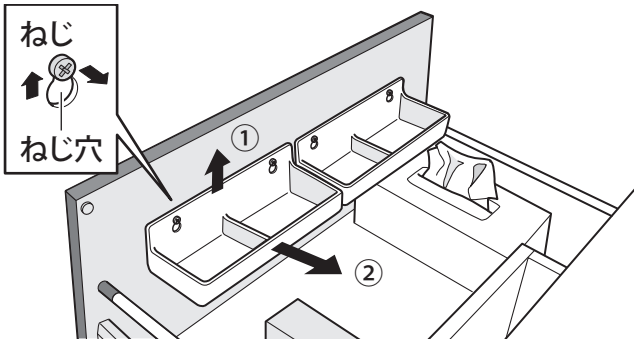
●取り外し

❶ 小物ポケットを持ち上げて、ねじ穴の中心位置にねじを合わせる。

❷ 手前に引き、取り外す。

●取り付け

取り外しと逆の手順で行います。



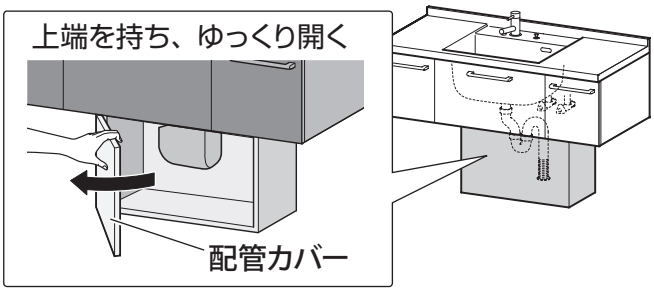
使い方

配管カバー アフェットフロートタイプ

配管カバーの開け方

アフェットフロートタイプでは、キャビネット下の配管カバーを開けて水受けタンクや配管を確認します。
配管カバーは丁番で開閉できる構造になっています。カバーの上端を持ち、ゆっくり開きます。

※ 物の収納はできません。



⚠ 注意

配管カバーを開閉するときは、指を挟まないようにゆっくり行う。
指を隙間で挟み、けがをするおそれがあります。

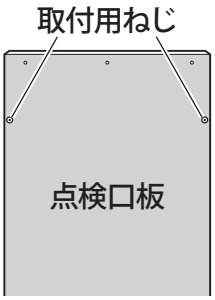
点検口板 レスト

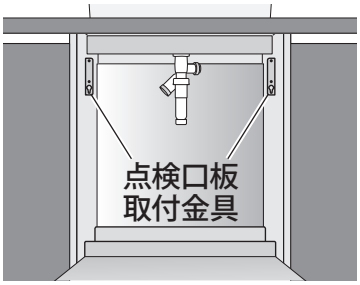
点検口の取り外し方

●取り外し

❶ 点検口板の上部取手を上へスライドさせる。

❷ 点検口板の下部を手前に引き、取り外す。





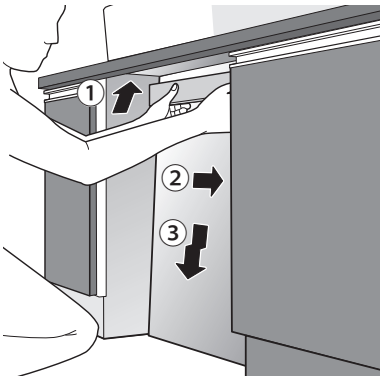
●取り付け

点検口板裏に付いている取付用ねじをキャビネットの取付金具に引っかけ、固定します。

❶ 点検口板を取付位置に合わせ上部の取手を持ち上げる。

❷ 点検口板の中心あたりを押さえ押し込む。

❸ 軽く押し込みながら下へスライドさせる。



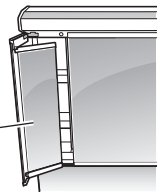
⚠ 注意

点検口板の取り付け後は、取手を引きしっかりと納まっていることを確認する。
点検口板取付金具に確実に納まっていないと、点検口板が外れけがをするおそれがあります。

ミラー

お願い

●鏡の開閉時には両手を使い、やさしく扱ってください。
●Wミラーの場合、鏡を閉めるときは必ず内鏡を先に閉じてください。

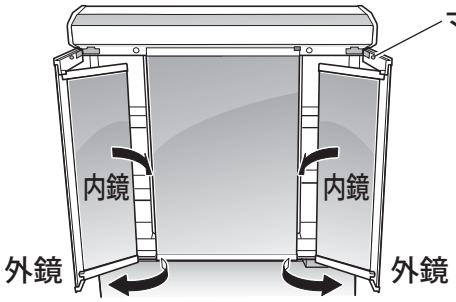


Wミラー

アフェット セレクトボウルタイプ　アフェット　アフェット・C　エポック

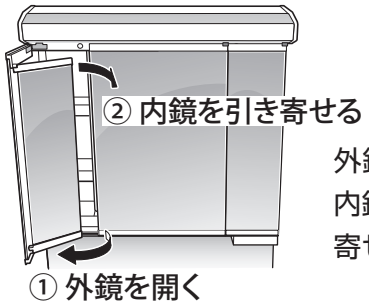
W ミラーとは、鏡扉の内側にもう一枚鏡を配置した鏡で、それぞれ外鏡、内鏡と呼びます。

●合わせ鏡として使う



外鏡と内鏡の開き角度を調整し、見えやすい角度にします。

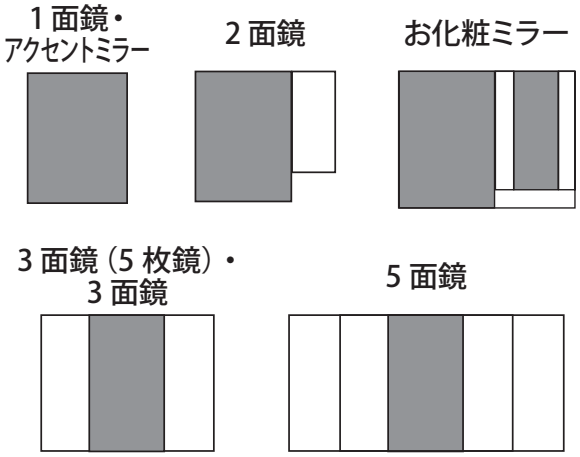
●お顔に近付ける



外鏡を開いた後、内鏡を手前に引き寄せます。

クリアコートミラー（EJシリーズを除く）

親水性の特殊コーティングを施して、ヒーターは使用せず、鏡をくもりにくくしています。
クリアコートミラーは、次の ■ で示す鏡です。

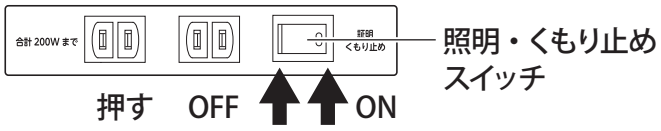


くもり止め効果を保持するため、汚れたときはすぐに拭き取ってください。

➡ P5「クリアコートミラーについて」、
P33「クリアコートミラー」

くもり止めヒーター付ミラー　EJ

くもり止めスイッチは、照明スイッチと兼用です。
スイッチを ON にしてから、約５分で効果が出始めます。



⚠ 注意

鏡の表面をシートなどで覆わない。
高温になり、鏡が割れるおそれがあります。

照明を点灯しているとき（くもり止めヒーター作動しているとき）は、鏡の表面を触らない。
くもり止めヒーターの温度は、室温＋35℃くらいまで上がります。直接触れると、非常に熱く感じることがあります。

ミラーキャビネット

トレー・乾くん棚

トレーの高さを調整できます。また、トレー、乾くん棚は取り外して洗うことができます。

⚠ 注意

耐荷重を守り、重い物は分散して収納する。

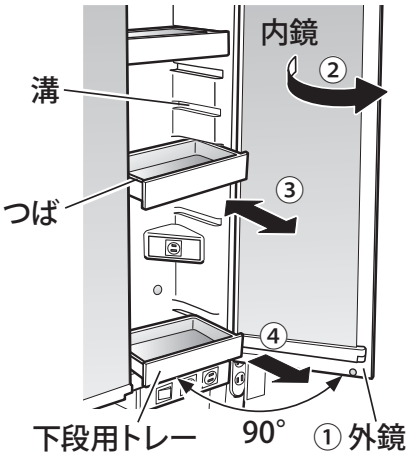
最大積載量より重い物を置くと、落下してけがをしたり、変形･破損の原因になります。
トレーには 1 段当たり 1kg 以上、乾くん棚には 2kg 以上の物を載せないでください。

3 面鏡・バニティキャビネット・お化粧ミラーのトレー

アフェット セレクトボウルタイプ　アフェット　アフェット・C　エポック　ジョリエ　EJ

●取り外し

1. 外鏡を約 90 度の位置まで開く。
2. 内鏡を 90 度以上開く。
3. トレーを手前方向に引き出す。
4. 下段用トレーは、上に持ち上げてから引き出す。



●取り付け

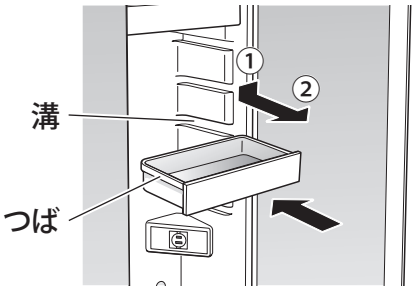
トレーのつばを収納棚の溝に合わせて差し込む。
奥まで確実に差し込んでください。

トレー付 1 面鏡のトレー

エポック　ジョリエ

●取り外し

1. トレーの奥側を下に押す。
2. そのままトレーを手前方向に引き出す。



●取り付け

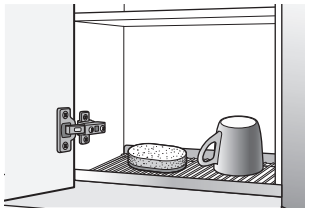
トレーのつばを収納棚の溝に合わせ、奥側の溝にはまり込むまで差し込む。
確実に差し込んでください。

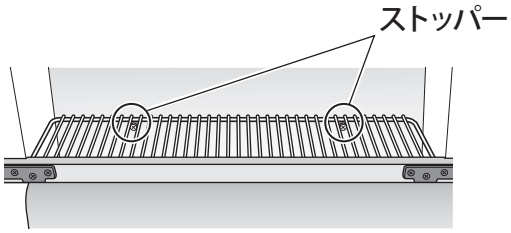
乾くん棚

アフェット セレクトボウルタイプ　アフェット　アフェット・C　エポック　EJ

コップやスポンジなど多少湿った物を載せても、自然換気で湿気や臭いがこもりません。
網棚は、持ち上げると簡単に取り外せます。取り付けるときは、網棚がストッパーに掛かり、取り付け位置にぴったりとはまっていることを確認してください。

乾くん棚



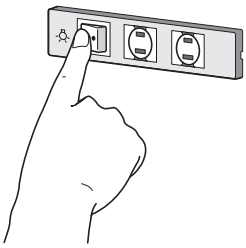


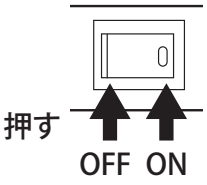
照明スイッチ・コンセント

照明スイッチ

照明は、照明スイッチで点灯・消灯します。

●角形スイッチ



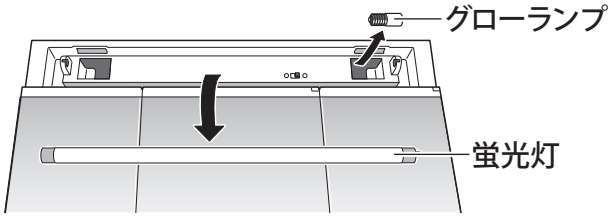


●丸形スイッチ

1 回押すたびに
ON・OFF を
繰り返します。

●点灯まで時間がかかる、点灯しないときは

グローランプ付きの蛍光灯は、その特性上、点灯までに 10 秒程度かかる場合があります。点灯までに 10 秒以上かかる場合には、蛍光灯およびグローランプが正しく取り付けられているか、または劣化していないかを確認してください。交換方法 ➡ P40



※ 次の照明は、インバータータイプのため、グローランプはありません。

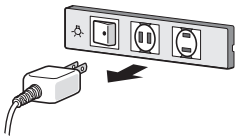
- アフェット アフェット フロートタイプ レスト 1 面鏡、アクセントミラーの照明
- アフェット セレクトボウルタイプ アフェット アフェット・C 1200mm 巾の 3 面鏡の照明

コンセント

⚠ 注意

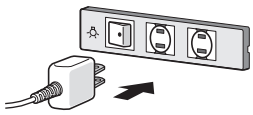
未使用の電気機器のプラグはコンセントから抜く。

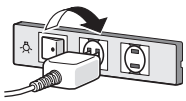
誤って電気機器のスイッチが入ると、変形・変色・火災の原因になります。

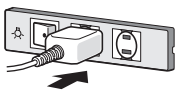


●回転式

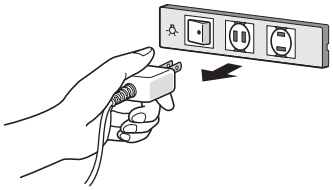
❶ 軽く差し込む。 ❷ 右に90度回す。 ❸ 奥まで差し込む。





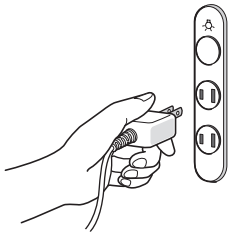


抜くときは、プラグをまっすぐ引き抜く。



●ストレート式 アフェット アフェット フロートタイプ

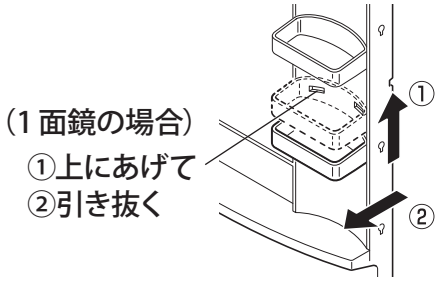
プラグをまっすぐ奥まで差し込む。



使い方

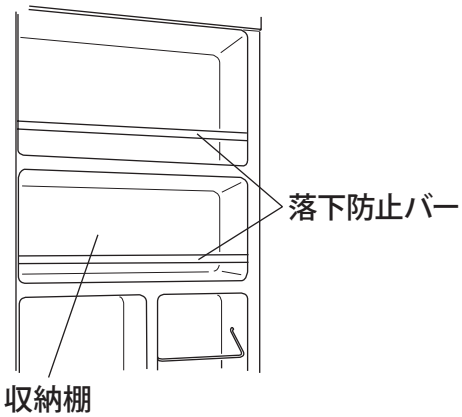
トレー ジョリエ

お手入れの場合などのために、取り外しできるようになっています。



落下防止バー付き収納棚 ジョリエ

ミラー裏の収納には落下防止バーが付いています。ボトル類などを置くことができ、ティッシュボックスもぴったり納まります。（1 面鏡を除く）



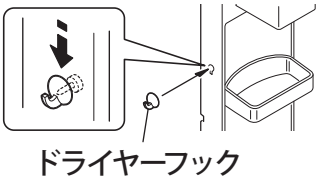
化粧品専用トレー ジョリエ

除光液や液だれしやすい化粧品などを置くことができるので、お手入れも楽にできます。

※ 収納部最下段には必ずトレーを設置してください。

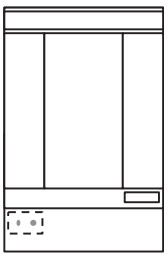
ドライヤーフック ジョリエ

左右の穴にお好みでフックを取り付け、ドライヤーを掛けておくことができます。
（1kg まで）
（1 面鏡のみ対応）



●3 面鏡（MBS0753MB）のみ ジョリエ

※ [　　] 部の凹み（2 カ所）は成形によるもので、使用しません。



3-1. 日ごろのお手入れ

お手入れの前に

● 日々のちょっとしたお手入れで、洗面化粧台を長く美しく保つことができます。

大切なのは、「使ったらすぐ」、「汚れたらすぐ」拭き取ることです。
汚れが目立つ前にお手入れしましょう。

お願い

有機溶剤、強酸性・強アルカリ性の洗剤、たわし、硬いスポンジなどは、使用しないでください。

洗面化粧台に傷が付いたり、変色・変質のおそれがあります。
以下のものは、使用しないでください。

●有機溶剤

シンナー、ガソリン、アルコール、アセトン

●洗浄剤

強酸性、強アルカリ性、塩素系漂白剤、
トイレ・タイル用洗浄剤、さび・カビ取り剤

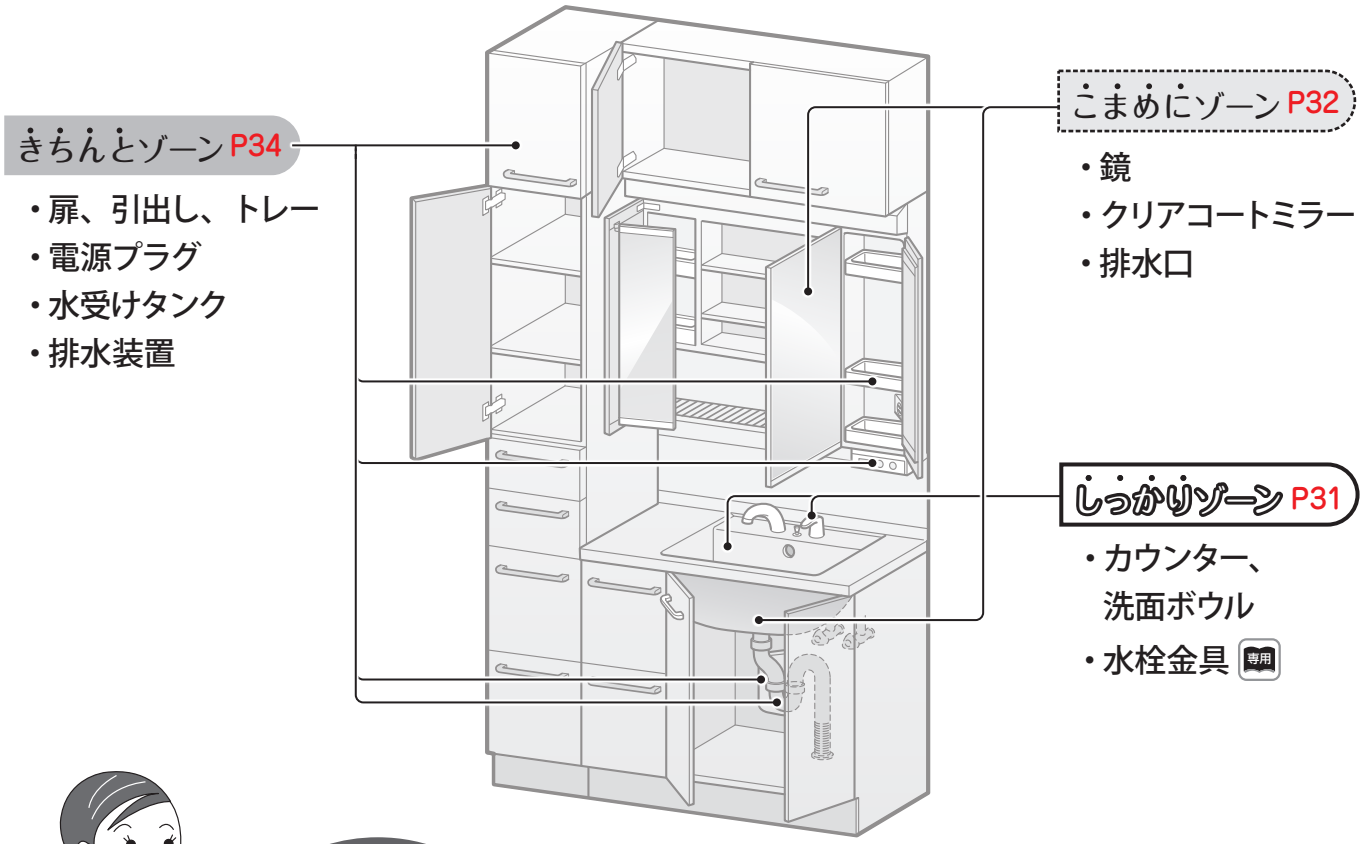
●その他

磨き粉、たわし・硬いスポンジ、殺虫剤

お手入れに使用する洗剤の注意事項をよく読んでからご使用ください。

お手入れのコツ

場所によって汚れ方は様々です。効率よくお手入れするためには、汚れやすい場所と適切なお手入れ方法を知ることが大切です。



専用 水栓金具・組み込まれる機器については、専用の取扱説明書をご覧ください。

しっかりゾーン ➡ 毎日お手入れするところ

よく使うところです。毎日のお手入れを習慣付けましょう。

こまめにゾーン ➡ 汚れたとき、汚れが気になったとき

汚れがたまりやすいところです。
汚れたらこまめにお手入れしましょう。

きちんとゾーン ➡ 月１回程度

汚れに気づきにくいところです。
キレイに保つために、月に一度はお手入れしましょう。

しっかりゾーン
毎日のお手入れ

いつまでもキレイに
使い続けるポイント。
しっかりね！

カウンター・洗面ボウル

使い終わったら水分を拭き取りましょう。水あかの付着防止になります。

日ごろのお手入れ

使う道具

布

水またはぬるま湯に浸した布を固く絞り、汚れを拭き取る。

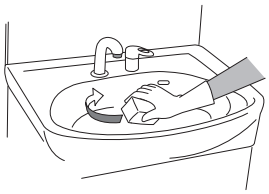
汚れが取れないとき

使う道具

中性洗剤

スポンジ

1. 中性洗剤とスポンジで軽くこすり洗いする。
2. 洗剤が残らないよう、しっかり洗い流す。
3. からぶきする。



がんこな汚れやすり傷には アフェット セレクトボウルタイプ マルチユースボウル

使う道具

ナイロン面

スポンジたわし

1. スポンジたわしのナイロン面に水を含ませ、円を描くようにこする。
2. 十分な水で洗い流す。
3. からぶきする。

⚠ 注意

マルチユースボウル以外に、スポンジたわしは使用しない。

洗面化粧台に傷が付いたり、変色・変質のおそれがあります。

テノールカウンター・ボウルにはスポンジたわしのナイロン面やサンドペーパー、クリームクレンザーなどを使用しない。

表面にこすりキズが残ります。

水栓金具

一日の終わりに水分を拭き取るようにしましょう。水あかの付着防止になります。

専用

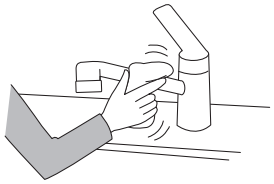
水栓金具には、専用の取扱説明書が付属されております。
詳しいお手入れ方法に関しては、そちらをご確認ください。

日ごろのお手入れ

使う道具

柔らかい布

柔らかい布でからぶきする。



こまめにゾーン
汚れたときのお手入れ

**がんこな汚れに
なる前に
キレイにすれば、
お掃除も簡単です。**

排水口

ヘアキャッチャー（ポップアップ水栓タイプ）や排水カゴ（マルチユースボウル）のゴミはそのままにせず、こまめに捨てましょう。ヘアキャッチャーに髪の毛や異物などがたまると、排水しなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

使う道具

中性洗剤

小型のブラシ

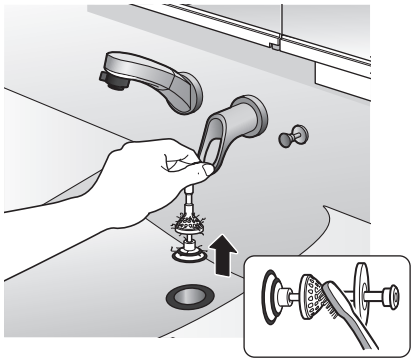
❶ 小型のブラシに薄めた中性洗剤を付け、排水口、排水栓周りを洗う。

❷ ＜ポップアップ水栓タイプ＞
排水栓を引き抜き、小型のブラシで、排水栓、ヘアキャッチャーを洗う。
※ 排水栓からヘアキャッチャーを取り外して洗うことができます。

＜ゴム排水栓タイプ＞
小型のブラシで、排水栓を洗う。

＜マルチユースボウル＞
小型のブラシで、排水網カゴの網目を洗う。

❸ 十分な水で洗い流す。



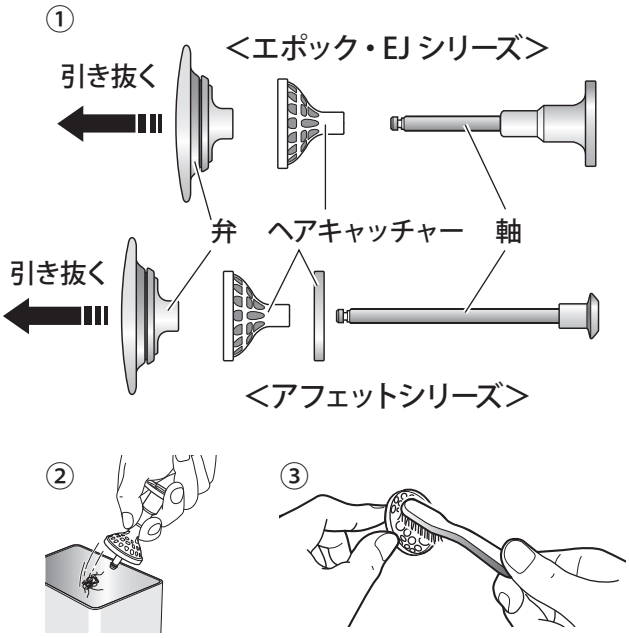
●取り外し可能なヘアキャッチャーのお手入れ

❶ 排水栓の軸を持ち、弁を引き抜いて、ヘアキャッチャーを取り外す。

❷ ヘアキャッチャー内のゴミを捨てる。

❸ 歯ブラシ等で汚れを取り除く。

❹ 軸にヘアキャッチャーを差し込んでから、「カチッ」と音がするまで弁を軸に差し込む。



鏡

汚れたらすぐに拭き取りましょう。

日ごろのお手入れ

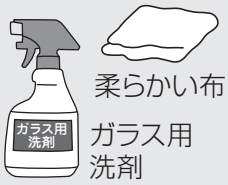
使う道具

柔らかい布

水滴や汚れがついたら、その都度拭き取る。

汚れが取れないとき

使う道具



柔らかい布

ガラス用洗剤

1. 鏡にガラス用洗剤を吹き付ける。
2. 柔らかい布で拭き取る。

クリアコートミラー

クリアコートミラーの表面には特殊な加工がされており、特に注意が必要です。
5 ページの「クリアコートミラーについて」をよくご確認のうえ、正しくお手入れしてください。

日ごろのお手入れ

使う道具

柔らかい布

水滴や汚れがついたら、すぐに柔らかくきれいな布で拭き取る。

汚れが取れないとき

使う道具

中性洗剤
（無色透明）

柔らかい布

1. 水で5倍に薄めた台所用中性洗剤（無色透明なもの）を含ませた柔らかい布で、汚れを拭き取る。
2. 洗剤が残らないよう、乾いた柔らかい布で拭く。

⚠ 注意

鏡に水・熱湯をかけない。

鏡が破損・腐食するおそれがあります。

きちんとゾーン

月１回程度のお手入れ

お掃除の日を
決めて、定期的に
行いましょう。

扉・引出し・トレー

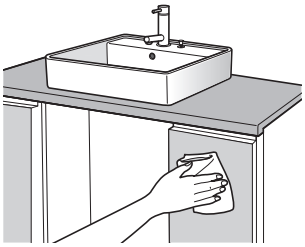
柔らかい布でやさしくお手入れしてください。
研磨剤入りの洗剤やスポンジたわしなど、固い素材のお手入れ道具は使用しないでください。

日ごろのお手入れ

使う道具

柔らかい布

水またはぬるま湯に浸した布を固く絞り、
汚れを拭き取る。



汚れが取れないとき

使う道具

住宅用洗剤

柔らかい布

スポンジ

❶ 住宅用洗剤を付けた柔らかい布またはスポンジを固く絞り、汚れを拭き取る。

❷ 洗剤が残らないようにしっかり拭き取る。

❸ からぶきをして、水分を完全に拭き取る。

お願い

収納部に化粧品や洗剤が付着した場合は、きれいに取り除いてください。

水受けタンク・水受けトレー

月に１回、ベースキャビネット内部の水受けタンク・水受けトレーを掃除してください。

日ごろのお手入れ

使う道具

布

<水受けタンクの場合>

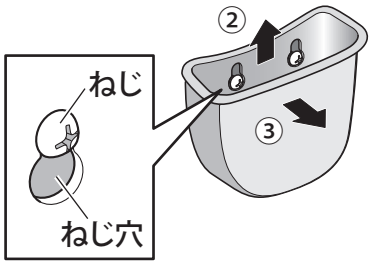
❶ シャワーホースを水受けタンクから取り出す。

❷ 水受けタンクを持ち上げて、ねじ穴の中心位置にねじを合わせる。

❸ 手前に引いて取り外す。

❹ 水を捨て、汚れを拭き取る。

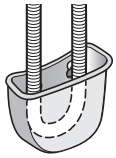
❺ 水受けタンクを取り付けて、シャワーホースを中に納める。



⚠ 注意

シャワーホースは、水受けタンクの中にきちんと納める。

シャワーホースが水受けタンクに納まっていないと、ホースを伝って水がキャビネット内に落ち、キャビネットおよび家財が損傷するおそれがあります。



水受けタンク

使う道具

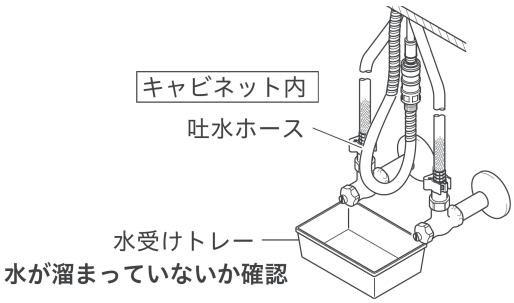
布

<水受けトレーの場合>

❶ 水受けトレーを取り出す。

❷ トレー内の水を捨て、汚れを拭き取る。

❸ 水受けトレーをシャワーホースの直下に来るように置く。



⚠ 注意

水受けトレーは必ずシャワーホースの直下に来るように置く。

水受けトレーがシャワーホースの直下に置かれていないと、ホースを伝って水がキャビネット内に落ち、キャビネットおよび家財が損傷するおそれがあります。

ミラーキャビネットの電源プラグ

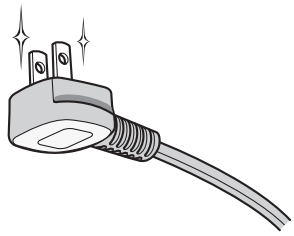
ミラーキャビネットの電源プラグに付着したホコリは、定期的に取り除いてください。
ホコリと湿気で絶縁不良となり火災発生のおそれがあります。

日ごろのお手入れ

使う道具

乾いた布

乾いた布で拭き取る。

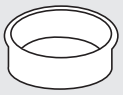


排水装置

排水トラップに異物が詰まると、排水の流れが悪くなります。このようなときは、排水トラップを掃除してください。

排水の流れが悪いとき

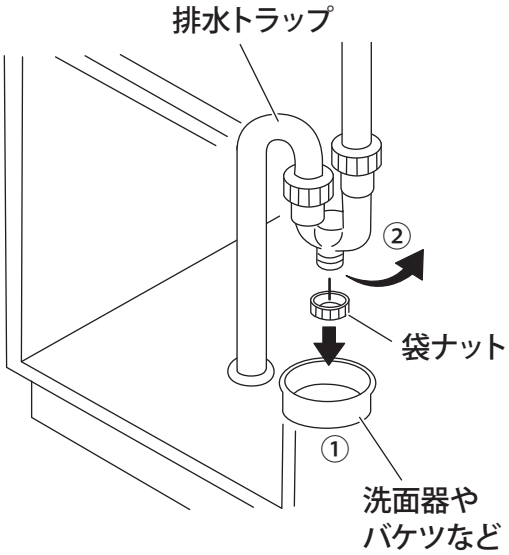
使う道具



洗面器など
水受け

布

1. 洗面器やバケツなど、水受けを置く。
2. 袋ナットを外す。
3. 排水トラップからゴミを取り除く。
4. 袋ナットを手で締めて取り付ける。



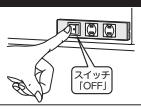
お願い

お手入れが終わったら、水漏れがないか必ず確認してください。

3-2. 照明の交換

⚠ 警告

照明の交換をする場合は、必ず照明スイッチを切る。
感電のおそれがあります。



お客様ご自身での修理・分解・改造は絶対に行わない。
発火・感電・けがのおそれがあります。

照明は、必ず指定のものと交換する。
火災のおそれがあります。

⚠ 注意

照明が切れた直後や、消灯直後の照明交換は行わない。
蛍光灯が熱くなっており、やけどやけがのおそれがあります。

照明本体の鋼板端部には手を触れない。
けがの原因となります。

お願い

取り付け後は、照明スイッチを入れ、蛍光灯が点灯することを確認してください。
点灯しない場合は、「よくあるご質問 ドレッサー Q&A」の「照明」(➡ P49) をご覧ください。

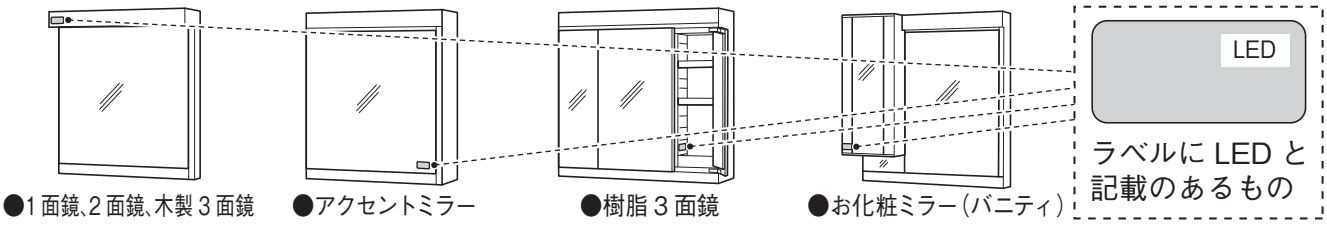
照明カバーは、照明スイッチを切ってから取り付けてください。

LED 照明について

■ 直管型 LED 仕様 アフェットセレクトボウルタイプ アフェット アフェットフロートタイプ アフェット・C レスト エポック EJ

ミラーキャビネットに「LED」のラベルが貼られている製品が対象となります。

<ラベルの位置>



※ LED 照明の光源は、通常の電球と異なり、お客様ご自身での交換はできません。
万一、点灯不良や故障などの不具合が発生した場合には、照明器具の交換が必要となりますので、お買い上げの販売店、または当社修理のご相談窓口までご連絡ください。
※ LED 光源は、30,000 ～ 40,000 時間の点灯で約 70%の照度になるとされていますが、あくまで参考値です。(無償保証期間とは異なります。)
※ 照明カバーを外した際に見える光源のうねりは、異常ではありません。
※ LED 素子にばらつきがあるため、光色・明るさの異なる場合があります。

照明の交換時には、必ず指定のものを使用してください。

■ 電球型 LED 仕様 ジョリエ

	間口	ワット(W)タイプ	色	形名	サイズ	口金
1 面鏡	600	4.4W × 2	昼光色	LDA4D	外径 60mm 以下 長さ 120mm 以下	E26
	750					

※ 直管型 LED 仕様の 3 面鏡は照明交換ができません。お買い上げの販売店、または当社修理のご相談窓口までご連絡ください。

適合する蛍光灯・グローランプ

照明の交換時には、必ず指定のものを使用してください。

■ 直管型蛍光灯仕様 エポック EJ

タイプ	ミラーキャビネット	適合する蛍光灯	色※	グローランプ
蛍光灯	3 面鏡（750mm 巾、900mm 巾） 1 面鏡（トレー付）	直管スタータ 20 形・白色 （FL20 ガラス径 28mm、長さ 580mm）	白色	FG-1E

■ 電球型蛍光灯仕様 ジョリエ

	間口	ワット（W）タイプ	色※	形名	サイズ	口金
1 面鏡	600	12W D 形× 2 または 12W A 形× 2	昼光色	EFD15ED/# または EFA15ED/#	外径 60mm 以下 長さ 120mm 以下	E26
	750					

（# の定格消費電力を表す記号はメーカーにより異なります。）

次の蛍光灯は使用できません。

- 長さや管径が異なる直管スタータ形蛍光灯
- ラピットスタート形

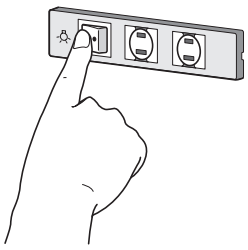
※ 指定色以外の蛍光灯を取り付けた場合、初期状態と色合いや明るさが異なります。

照明カバーの取り外しと取り付け

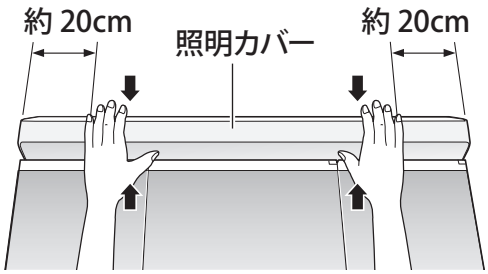
ウォールキャビネットがない場合

●取り外し

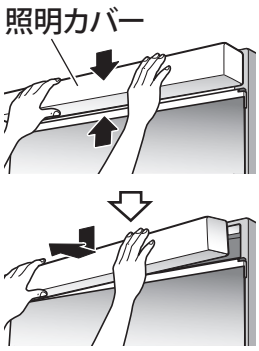
❶ 照明スイッチを切る。



❷ 照明カバーの両端から 20cm 位のところの上面と下面を軽く挟んで持つ。

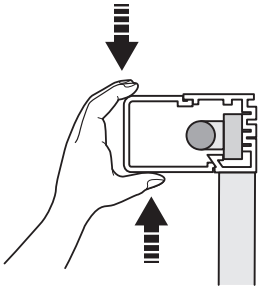


❸ 上面を押し下げながら手前に引き抜く。



●取り付け

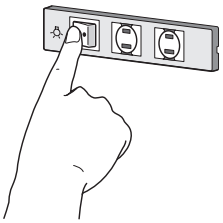
取り外しと逆の手順で行います。
カバーの上下を多少押さえながら、水平に差し込んでください。



ウォールキャビネットがある場合

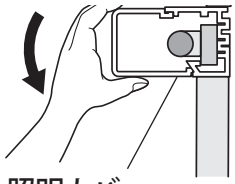
●取り外し

❶ 照明スイッチを切る。



❷ ウォールキャビネットとカバーの隙間に指を入れる。

ウォールキャビネット



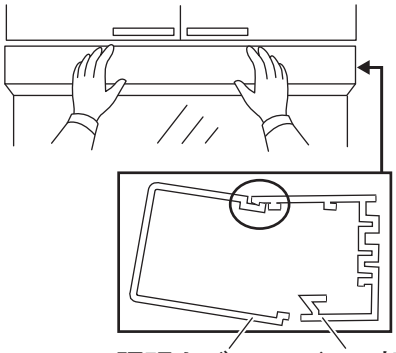
照明カバー

❸ カバーを矢印の方向に回転させながら外す。

指が入りづらい場合には、キャビネットと照明カバーの間に定規を 3 センチ程度差し込み下方向へ押すと、外れやすくなります。

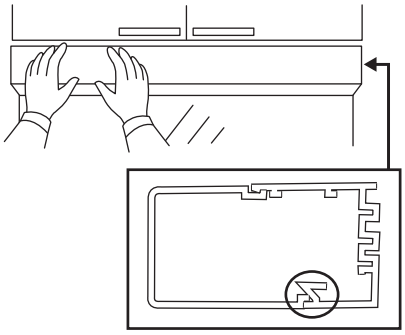
●取り付け

❶ 照明カバー上部をベース部品に引っかける。

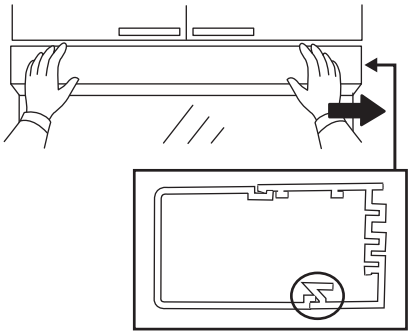


照明カバー　ベース部品

❷ 照明カバーの左端下部を押してはめ込む。



❸ 左側から右側まではめ込む。

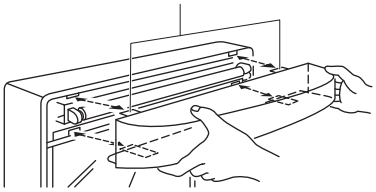


3 面鏡の照明カバー取り外し・取り付け方 ジョリエ

❶ カバーのつめ部を上下に挟み込み、手前に外す。

❷ 取り付けは、本体の穴につめ部を合わせて押し込む。

カバーのつめ部



お願い

照明カバーを取り付けた後は、照明カバーがしっかりと固定されていることを確認してください。

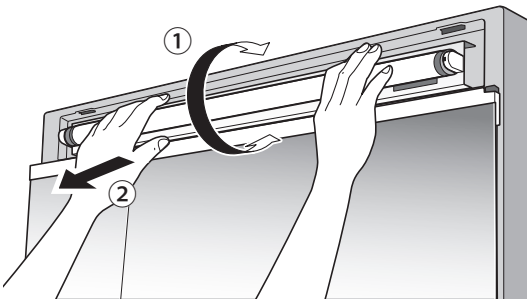
交換のしかた

蛍光灯・スリム型蛍光灯

❶ 蛍光灯を取り外す。

① 蛍光灯の両端を持ち、上面を手前に引きながら「カチッ」と音がするまで回す。
※ 蛍光灯を触る前に、十分に冷めていることを確認してください。

② そのまま、引き抜く。



❷ 新しい蛍光灯を取り付ける。

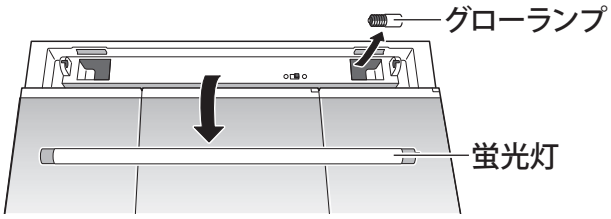
グローランプ

蛍光灯と同時にグローランプも交換することをお奨めします。

蛍光灯を取り外すと、グローランプの取り付け位置を確認できます。
グローランプは、ねじ込み式です。

❶ グローランプを左に回して取り外す。

❷ 新しいグローランプを右に回して取り付ける。



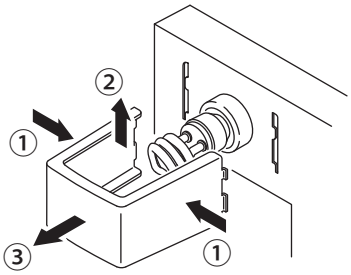
電球型蛍光灯 ジョリエ

❶ カバーの左右を押しながらつめを本体から外し、

❷ 上にスライドさせ、

❸ 手前に引いて取り外す。

❹ 新しい電球を取り付ける。



取り付けのときは逆の手順で行い、カバーを手前に引いて確実に取り付いていることを確認してご使用ください。

⚠ お手入れの注意

禁止

● **指定外の電球は使わない。**
スイッチの故障や火災のおそれがあります。

4. 各部の調整方法

⚠ 注意

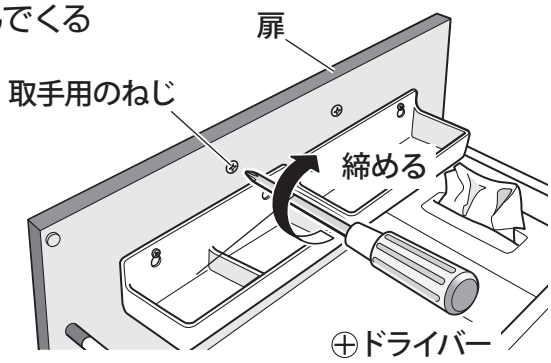
調整は、必ず手回しドライバーで行う。

電気式ドライバーやインパクトドライバーを使用すると、ねじが破損し調整できなくなったり、破損してけがをするおそれがあります。

取手

取手がゆるんできたら

長い間使用していると、取手用のねじがゆるんでくる場合があります。
⊕ドライバーで締め直します。



鏡扉

鏡扉がきちんと閉まらないとき

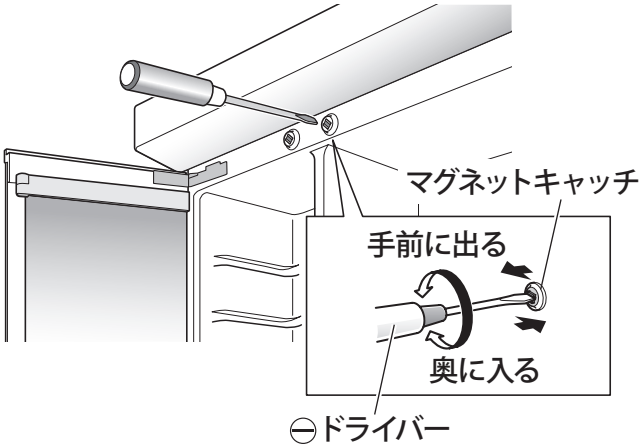
マグネットキャッチの飛び出し量を、⊖ドライバーで回して調整します。

●鏡扉の閉まりが悪い場合

マグネットキャッチを左に回して、手前に出します。

●鏡扉が閉まりきらない場合

マグネットキャッチを右に回して、奥に入れます。



開き扉

⚠ 注意

扉にがたつきがあるまま使用しない。

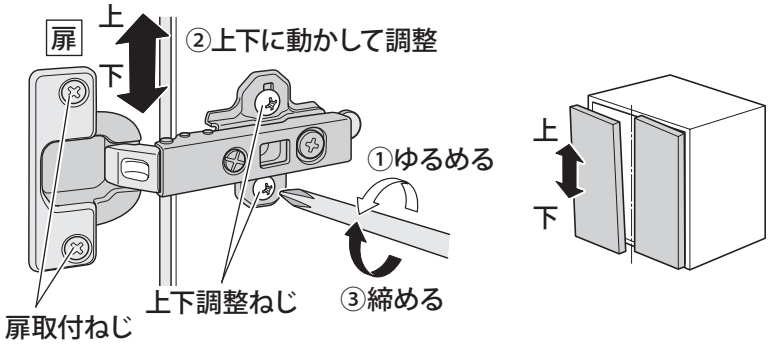
扉が落下してけがをするおそれがあります。修理のご相談窓口までご連絡ください。

扉と扉の間に隙間ができたり、きちんと閉まらなかったりするときは、⊕ドライバーを使用して、扉を調整してください。

上下方向の調整（扉が下がってきた、開閉するときにがたつく場合）

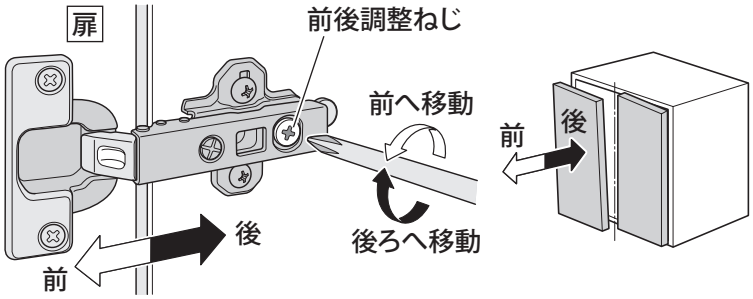
扉の高さが棚の高さとそろっていないときは、上下調整ねじ（2 本）をゆるめ、扉を持って上下方向の位置を調整します。調整が終わったら、ねじを必ず締めてください。

扉ががたつくときは、扉取付ねじや上下調整ねじを増し締めしてください。それでもがたつく場合は、修理のご相談窓口にご連絡ください。



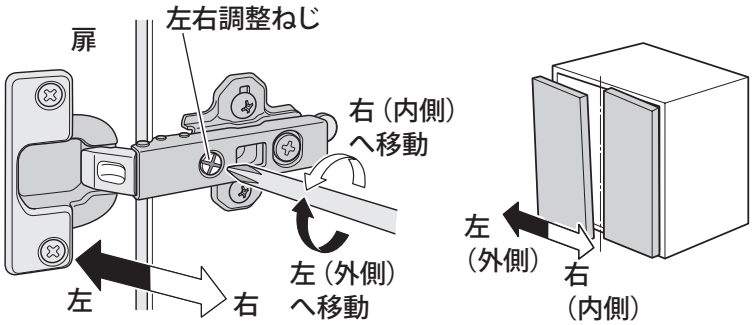
前後方向の調整（扉が完全に閉まらない（浮き）場合）

前後調整ねじを回すと扉が前後に動きます。扉の前後方向の位置を調整します。



左右方向の調整（閉めたとき、隣の扉に当たる場合）

左右調整ねじを回して、扉を左右方向の位置を調整します。
建物のわずかな歪みや収納物の重みでぴったり納まらない場合もありますが、使用上差しつかえない程度まで調整してください。



調整ねじの締めすぎ、ゆるめすぎに注意してください。
ねじが破損したり、脱落して調整できなくなります。

扉の調整後は、扉を 2 ～ 3 回開閉し、確実に固定されていることを確認してください。

引出し

引出しを閉じて、引出し鏡板の隙間が気になったり、上下の鏡板がそろっていないときは、鏡板を調整してください。

⚠ 注意

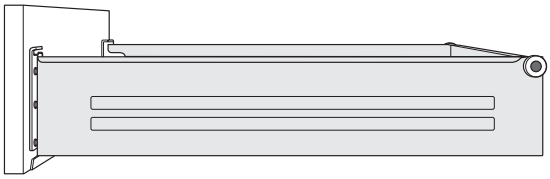
調整のためにゆるめたねじは、調整後必ず締める。

締め忘れると、引出しが破損したり、落下してけがをするおそれがあります。
調整時に外したカバーも必ず取り付けてください。

引出しの種類

引出しによって、調整方法が異なります。

●プラスチック引出し

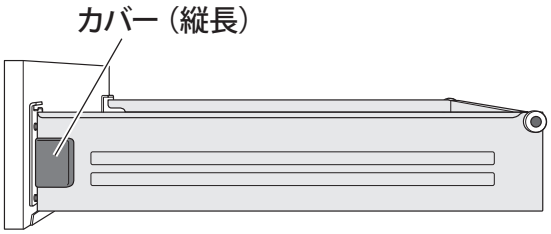


プラスチック製の引出しです。

●木製引出し

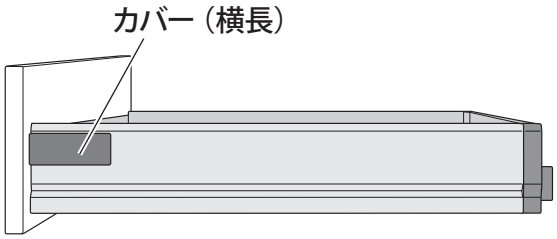
※ 木製引出しは調整できません。

●金属引出し<縦長カバー付タイプ>



引出し側面が金属製で、側面には縦長のカバーが付いています。

●金属引出し<横長カバー付タイプ>



引出し側面が金属製で、側面には横長のカバーが付いています。

プラスチック引出しの場合

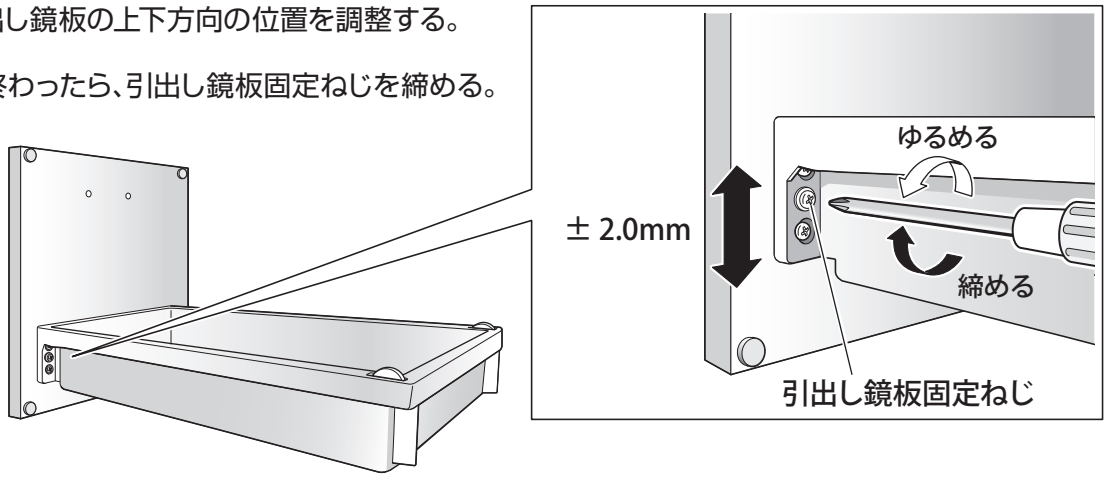
上下方向のみ調整ができます。左右の扉と上下ラインがそろっていない場合、調整してください。

上下方向の調整

❶ 引出し鏡板固定ねじをゆるめる。

❷ 手で引出し鏡板の上下方向の位置を調整する。

❸ 調整が終わったら、引出し鏡板固定ねじを締める。

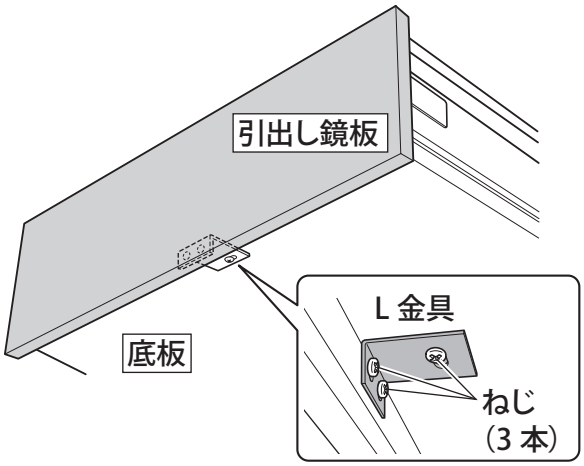


金属引出しの場合

調整の前後に

次の引出しの場合は、必ず引出しの L 金具または補強金具のねじをゆるめてから、調整を行ってください。
その次に、次ページ以降に記載されている手順どおりに、鏡板を調整してください。ゆるめたねじは、調整後、必ず締めてください。

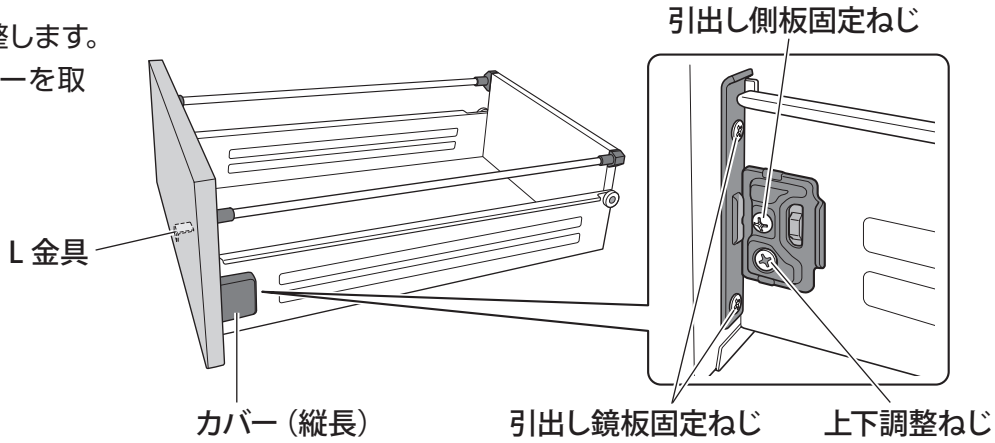
●キャビネットの間口が 60cm 以上の引出しの場合



底板の L 金具のねじ（3 本）をゆるめます。

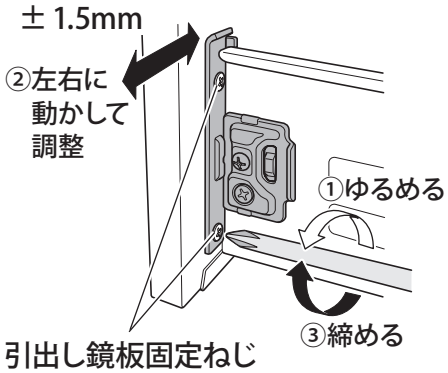
金属引出し<縦長カバー付タイプ>の場合

カバーを外して、調整します。
調整後は、必ずカバーを取り付けてください。



左右方向の調整

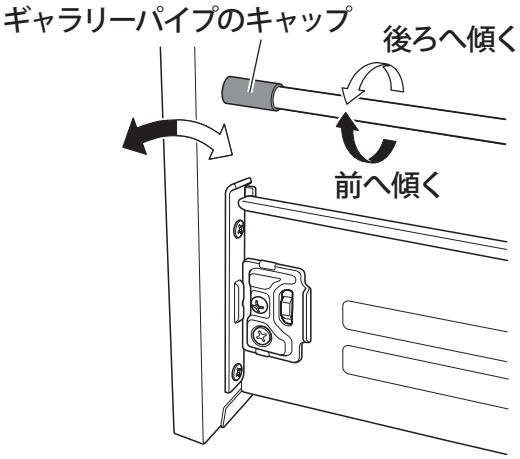
引出し鏡板固定ねじ（2 本）をゆるめ、手で引出し鏡板の左右方向の位置を調整します。
調整が終わったら、引出し鏡板固定ねじを締めてください。



傾き調整

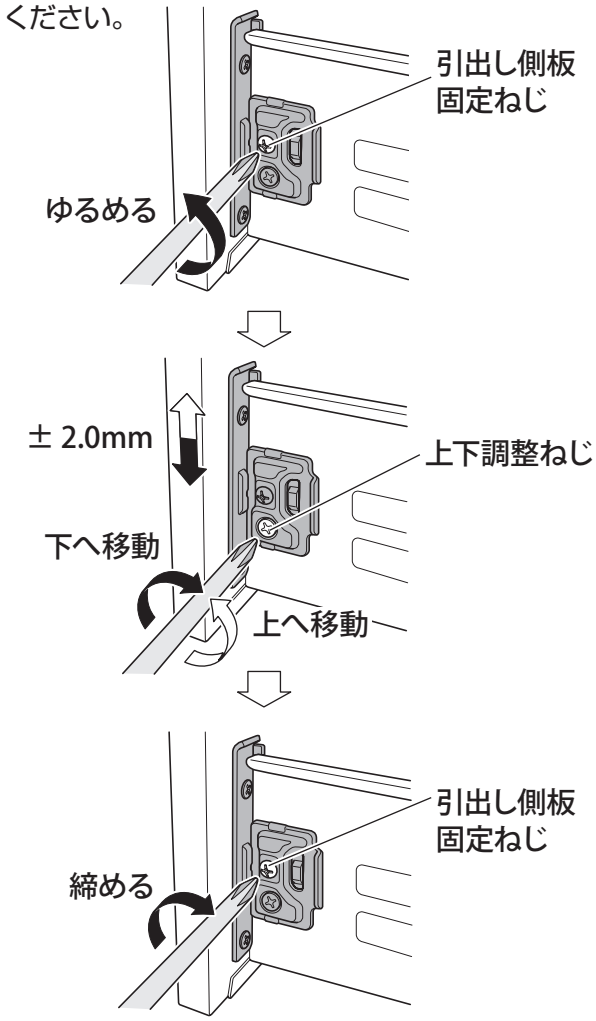
ギャラリーパイプのキャップを回して、引出し鏡板の傾きを調整します。

※ギャラリーパイプ付引出しのみ調整できます。



上下方向の調整

引出し側板固定ねじをゆるめてから、上下調整ねじを回して、引出し鏡板の上下方向の位置を調整します。
調整が終わったら、引出し側板固定ねじを締めてください。

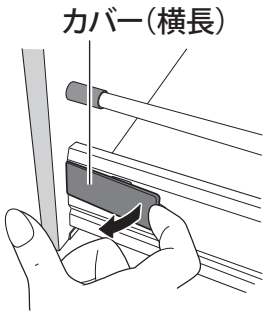


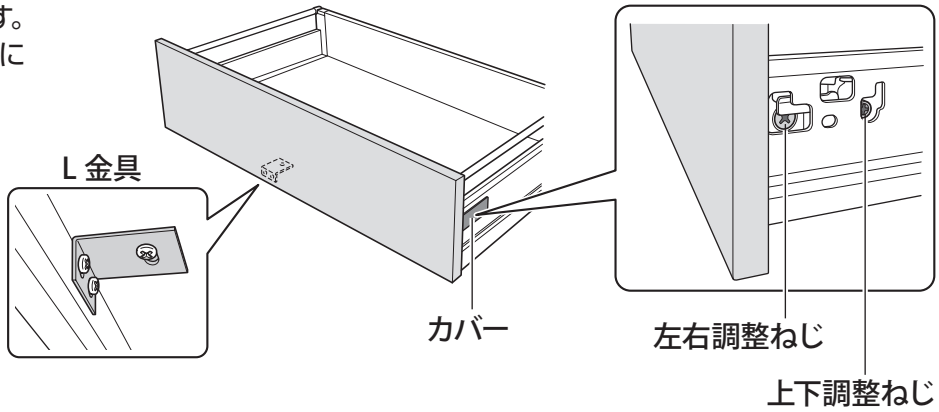
調整

金属引出し<横長カバー付タイプ>の場合

●横長カバーの外し方

カバーを外して、調整します。
図のように、カバーの後ろに
指を掛けて外します。

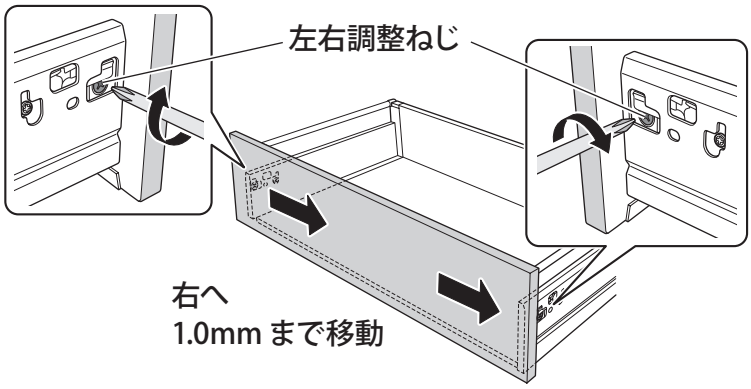


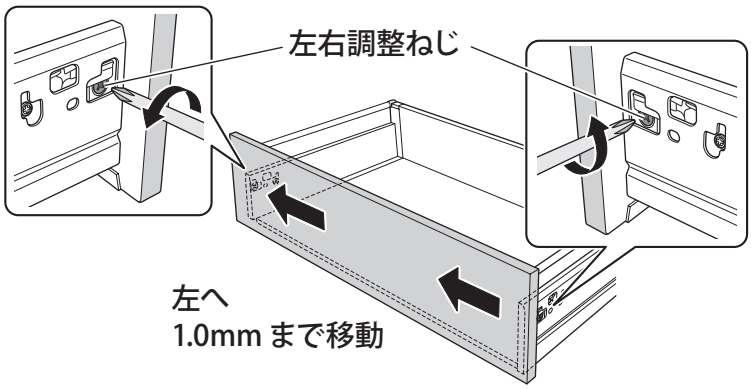


調整後は、必ずカバーを取り付けてください。

左右方向の調整

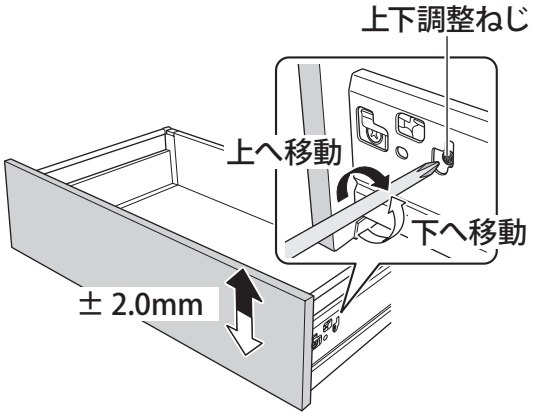
左右調整ねじを回して、引出し鏡板の左右方向
の位置を調整します。





上下方向の調整

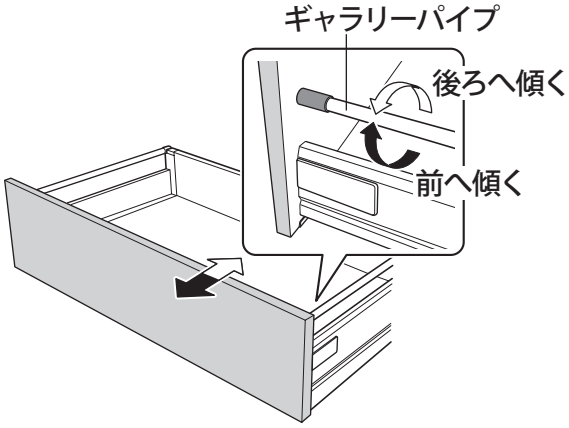
上下調整ねじを回して、引出し鏡板の
上下方向の位置を調整します。



傾き調整

ギャラリーパイプを回して、引出し鏡板の
傾きを調整します。

※ギャラリーパイプ付き引出しのみ調整できます。



5-1. よくあるご質問 ドレッサー Q&A

実際にお客様からよせられたご質問にお答えします。

「こんなとき、
どうすればいいの?」と
思ったときは、ここで解消!

水栓

Q 水栓またはシャワーホースから水が漏れます。

A パッキン・シャワーホースが劣化しています。修理をご依頼ください。

パッキン・シャワーホースは消耗品です。年に2回以上、水が漏れていないか点検し、水漏れがある場合は、水栓金具の取扱説明書をご参照のうえ、修理をご依頼ください。

Q 水の出が悪いのですが?

A 止水栓、吐水口のストレーナーを確認してください。

止水栓の調整用ハンドルを左に回すと、水量が増えます。➡ P19「水栓金具」
それでも改善されない場合は、ストレーナー(吐水口の網)が詰まっています。ストレーナーをお掃除してください。詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご参照ください。

Q 水栓を閉めても、水がぽたぽた落ちます。

A 吐水口が目詰まりしています。お掃除をしてください。

吐水口を取り外して、ゴミを取り除きます。
それでも改善されない場合は、ストレーナー(吐水口の網)が詰まっています。ストレーナーをお掃除してください。詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご参照ください。

Q 水栓を操作すると、衝撃音がします。

A 配管が振動する水撃音(ウォーターハンマー音)です。水栓レバーをゆっくりと開閉してください。

カウンター・洗面ボウル

Q 水拭きだけでは、汚れが取れません。

A 汚れの放置により、変色しています。汚れが取れない場合は、中性洗剤を使ってお掃除してください。
➡ P31「カウンター・洗面ボウル」

排水口・水受けタンク

Q 排水の流れが悪いのですが?

A ヘアキャッチャーのゴミがたまっています。ゴミを取り除き、洗ってください。➡ P32「排水口」

Q キャビネットの底板に水がこぼれています。

A 月に1～2回、水受けタンクを確認してください。

水受けタンクに水がたまっている場合は、水を捨ててください。
また、シャワーホースを伝って水が落ちることがあります。シャワーホースが水受けタンクの中にきちんと納まっていることを確認してください。➡ P35「水受けタンク・水受けトレー」

キャビネット

Q 扉や鏡扉がグラグラしています。

A 丁番を固定するねじがゆるんでいます。ねじを締め直してください。

長期間使用していると、丁番のねじがゆるんできたり、効かなくなったりする場合があります。
丁番のねじは、扉の位置を調整するためのものと、固定するものがあります。扉ががたつくときは、扉取付ねじや上下調整ねじを増し締めしてください。➡ P42「開き扉」
それでもがたつく場合は、修理のご相談窓口にご連絡ください。

Q ウォールキャビネットがグラグラしています。

A 壁に固定するねじがゆるんでいます。

お客様ご自身では修理することはできません。応急処置として、接着テープで止め、ただちに修理をご依頼ください。

Q ミラーキャビネットの丁番から黒い粉が出ます。

A 長期間使用していると、丁番の摩耗により、ホコリや汚れと混ざった金属粉が出ることがありますが、異常ではありません。雑巾などで拭き取ってください。

照明

Q 蛍光灯が点灯しません。

A 蛍光灯の取り付け角度を調整してください。

蛍光灯がソケットにきちんとセットされていません。蛍光灯を回して、ズレを直します。それでも点灯しない場合は、蛍光灯・グローランプが切れている、または、寿命切れです。新しいものと交換してください。
➡ P37「照明の交換」
交換後も点灯しない場合は、スイッチが故障しています。修理をご依頼ください。

Q グローランプ付きの蛍光灯がちらつくときがあります。

A 異常ではありません。

鏡（EJ の場合）

Q 鏡のくもりがなかなか取れません。

A くもりが取れるまでには時間がかかります。10分以上経過しても、くもりが取れない場合は、修理をご依頼ください。➡ P25「くもり止めヒーター付ミラー」
※くもり止めヒーターの大きさ以上は取れません。

Q 鏡が熱くなります。

A 照明を点灯しているときは、くもり止めヒーターが作動して鏡が熱くなります。

照明とくもり止めヒーターのスイッチは兼用です。照明のスイッチを入れると、くもり止めヒーターも作動し、鏡が熱くなります。鏡の温度は、室温+35℃くらいまで上がる（室温25℃のときは最高60℃）場合があり、直接触れると非常に熱く感じることがあります。➡ P25「くもり止めヒーター付ミラー」

その他

Q 修理の依頼をしたいのですが、何を伝えたらよいですか?

A 修理したい内容と商品IDの番号をご連絡ください。

商品IDは、ベースキャビネットの内側に書かれています。
➡ P50「修理の依頼先について」
商品IDをご連絡いただければ、出荷時におけるお客様の洗面化粧台の詳細が分かります。他に「商品名」「ご住所・氏名・お電話番号」をお伝えください。

5-2. アフターサービスのご案内

● 異常が発生した場合

被害が拡大しないよう、水栓金具の場合は止水栓を閉めてください。発煙したりこげたような臭いがしたら、電源プラグを抜くか、直結の場合は元電源を切ってください。その後、修理のご相談窓口までご連絡ください。

修理の依頼先について

故障や修理のご相談は、お買い上げの販売店へご相談いただくか、修理のご相談窓口までご連絡ください。

修理のご相談窓口

●インターネット

トクラス　修理　で検索

http://www.toclas.co.jp/support/

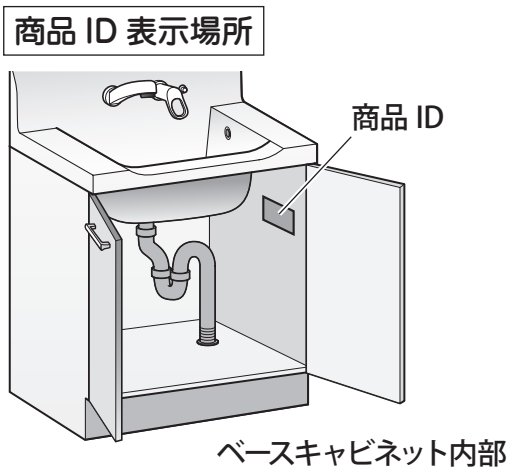
●電話

フリーコール 0120-119-555　※一部 IP 電話からはご利用いただけません。

●受付時間／月曜～金曜　9:00 ～ 17:30
土曜・日曜・祝日
夏期休業・年末年始　9:00 ～ 17:00

● ご連絡いただきたい内容

① 商品名
② 商品 ID
③ 異常の状況（何の、どこが、どうなったか）
④ ご住所・氏名
⑤ お電話番号
⑥ お引渡し日
⑦ 水栓のご相談は製造メーカー名



補修用性能部品の保有期間

当社は、本製品の機能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年間保有しております。

- 水栓金具については、水栓金具本体の取扱説明書をご確認ください。
- モデルチェンジ等により、予告なく商品を製造中止とする場合があります。あらかじめご了承ください。

保証について

- この取扱説明書の巻末が保証書になっております。
- 保証期間と保証内容については、55 ページの保証書をご確認ください。
  保証期間中は、保証の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
  保証期間内でも有料となることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。
- 修理期間を過ぎているときは、修理可能と判断できた場合に限り、有料で修理させていただいております。

● 修理料金について

当社修理のご相談窓口に修理を依頼された場合、修理料金は次の内容で構成されています。

修理料金の構成	【技術料】 ＋ 【部品代】 ＋ 【出張料】
【技術料】	診断・修理・部品交換・調整・点検などの作業にかかる費用です。
【部品代】	修理に使用した部品代です。
【出張料】	お客様のご依頼により、技術者を派遣する費用です。

修理内容の確認のため、下見が必要な場合は、別途費用が発生する場合がございます。

お客様へのお願い

以下のように、お客様のご希望に添えない場合があります。あらかじめご承知おきください。

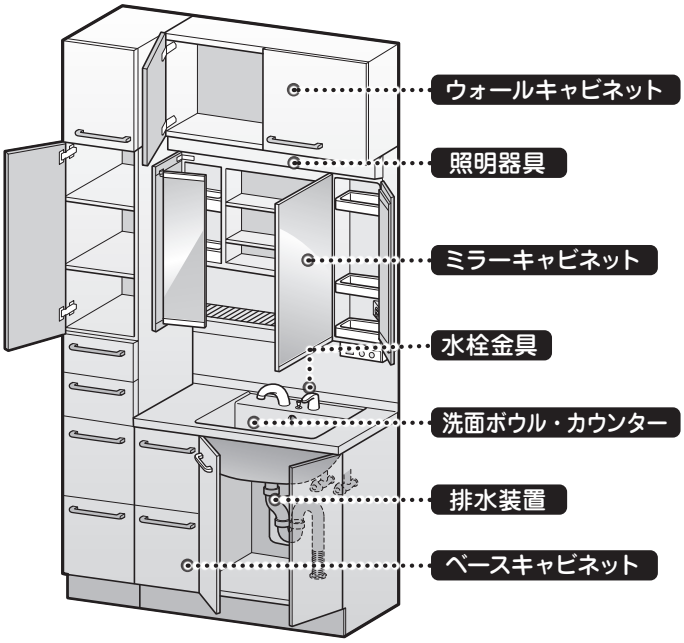
- 扉の入れ替え、または買い増しの場合、お手持ちの商品と色、木目柄、光沢が異なる場合があります。
- 扉などの化粧材については、部品補修が不可能となる場合があります。
- 本商品に収納された物品の変色・変質・損傷については、保障いたしかねます。

廃棄処分する場合

- 廃棄処分する場合には、許可を受けた業者様にご依頼いただき、適切な廃棄処分およびリサイクル可能な部材のリサイクルをお願いいたします。
- 廃棄部材の不法投棄等あった場合は、廃棄依頼者が法律違反で罰せられます。

5-3. 定期的な点検と部品交換について

洗面化粧台を安全・快適にご使用いただくためには、定期的な点検および部品の交換が必要です。
以下箇所を定期的に点検し、必要に応じてお手入れ、または部品の交換をしてください。
なお、お客様ご自身での部品交換が難しい場合には、お買い上げの販売店または当社までご依頼ください。有料にて承ります。
修理については、50 ～ 53 ページをご確認ください。



主な点検・確認箇所とその内容

確認箇所	点検の内容	点検頻度	技術料の目安（税抜） ※商品（部品）代・出張料は別途
洗面ボウル カウンター	ひび割れや欠けなどがないか	都度	修理　約 10,000 円～ カウンター交換　約 16,000 円～
排水口・排水装置	排水不良や水漏れがないか	月１回以上	清掃　約 6,500 円～
水栓金具 配管	水栓や配管接続部からの水漏れがないか	月１回以上	部品交換　約 10,000 円～
ベースキャビネット ウォールキャビネット	扉・引き出しのガタツキや開閉不良がないか 変形していないか 取手がゆるんでいないか	年１回以上	調整　約 6,500 円～
ミラーキャビネット	鏡に欠けや割れがないか 棚に割れがないか 丁番にゆるみはないか コンセントに異常はないか	月１回以上	本体交換　約 13,000 円～
照明器具	照明カバーにガタツキや緩みがないか	年１回以上	部品交換　約 5,000 円～
シリコンシーリング 目地	シーリングはがれや目地切れがないか	年１回以上	修理　約 6,500 円～

＜点検・修理料金について＞

・当社にて点検・修理を行う場合の料金は、次の内容で構成されます。
　料金構成【技術料】＋【部品代】＋【出張料】（詳しくは P51 をご確認ください）
　＊上記金額には部品代および出張料は含まれておりませんので、ご注意ください。

・上記技術料は、2022 年 6 月現在の金額です。金額は予告なく変更されることがあります。

部品交換・買い替えのスケジュール（年数は目安）

購入 ▶ 5 年 部品交換 ▶ 10 年 部品交換 ▶ 15 年 買替検討 ▶ 20 年 買替

お手入れ・点検 ―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―・―▶

- ご使用開始からおよそ 5 年・10 年で、部品交換の必要なものがあります。
- ご使用から 15 年で買い替えのご検討を始めていただき、およそ 20 年で交換時期となります。
- ご使用状況によって商品の劣化具合は異なるため、想定の耐用年数よりも早い時期の部品交換や本体交換が必要となる場合があります。
- 水栓金具や照明などの機器類は、ご使用期間全般にわたり、機器の状況に応じて交換が必要となります。

※ 住宅メーカー様や工務店様による個別のメンテナンススケジュールが提示される場合は、そちらに従ってください。

5 年・10 年を目安に点検・交換の必要な部品		15 年～
5 年	10 年	
洗面ボウル・カウンター本体 必要に応じて補修または交換	洗面ボウル・カウンター本体 必要に応じて補修または交換	10 年目と同様の点検・交換 および 買替検討開始
排水部品 必要に応じて各部品の交換	排水部品 必要に応じて各部品の交換	
水まわり配管（フレキ管）、シャワーホースなどの機能部品 必要に応じて各部品の交換	水まわり配管（フレキ管）・シャワーホースなどの機能部品 必要に応じて各部品または水栓金具本体の交換 ※水栓金具の耐用年数は 10 年	
取手・丁番・レール 必要に応じて各部品の交換	取手・丁番・レール 必要に応じて各部品またはキャビネット本体の交換	
丁番・棚・鏡・スイッチ・コンセント 必要に応じて各部品の交換	丁番・棚・鏡・スイッチ・コンセント 必要に応じて各部品の交換	
照明器具・照明カバー 必要に応じて各部品の交換	照明器具・照明カバー 必要に応じて各部品または器具本体の交換 ※照明器具の耐用年数は 10 年	
必要に応じてシーリングや目地の打ち直し	必要に応じてシーリングや目地の打ち直し	

※ 15 年以上経過後も継続してご使用の場合、5 年未満の間隔で各部の点検をお願いいたします。
交換していない部分は経年に相応して劣化していきますので、点検回数を増やされることをおすすめします。

※ 住宅メーカー様や工務店様による個別のメンテナンススケジュールが提示される場合は、そちらに従ってください。

＜サービスパーツ（補修用性能部品）について＞

- 洗面化粧台の機能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後 7 年間保有しています。
ただし、その期間内であっても、機能的に互換性のある別の部品で対応する場合があります。
- 修理の際、資格や技能を要するものがあるため、パーツ単体ではお客様に直接販売できないものもありますが、ご承知おきください。

5-4. トクラス オンラインショップのご案内

トクラス オンラインショップは、カウンター専用のマーブルワックス、トレーなどのお役立ちグッズを手軽にお買い求めいただける、便利なショッピングサイトです。

● インターネットより

トクラス オンラインショップ　で検索

http://shop.toclas.co.jp/

● お電話より

フリーコール 0120-32-0440　※一部 IP 電話はご利用いただけません。

●受付時間／月曜～金曜　9:00 ～ 17:30

土曜・日曜・祝日
夏期休業・年末年始　9:00 ～ 17:00

保証書

当社は、当該製品に関して、無料修理規定に則り無料修理を行うことをお約束します。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。その際に本書をご提示ください。
なお、保証書が別途添付されている部品・製品は、その保証書にしたがいます。
本書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

商品名（または品番）	トクラスドレッサー	保証期間	お引渡し日から ドレッサー本体 2年（但し、電気機器 1年※1）
※お客様	ご芳名（ふりがな）　様 ご住所　〒 お電話　（　　）	※お引渡し日	西暦　年　月　日
		※販売店	店　名 住　所 電　話　（　　）

（※印欄は必ずご記入ください。）
※1 電気機器は本体内蔵の機器を含みます。保証書が無い機器は当保証書を適用します。

無料修理規定

1．保証期間

取付設置業者様よりの商品の引渡し日から起算した期間をいいます。引渡し日とは、
・改修の場合、引渡し日は改修部分の完了の日とします。
・分譲住宅（建売住宅）、分譲及び賃貸マンションの場合、引渡し日は建築物が建築主様へ引き渡された日とします。

2．保証内容

取扱説明書（ご愛用のしおり）、ラベルなどの注意書きにしたがった正しい使い方で不具合が発生した場合、保証期間内は無料で修理いたします。
・原則として不具合部品の交換を伴う訪問修理時の技術料、部品代、出張料を保証いたします。
・当社の判断により、同機種または同等品との交換をもって修理にかえる場合があります。

3．免責事項

次の事項に該当する場合は、免責とさせていただきます。保証期間内でも、次のような場合には有料となります。
①住宅用途以外で使用した場合の不具合または住宅用途と異なる使用方法による場合の不具合
（例えば、業務用としての使用、展示品としての使用、展示品として使用した後に転売などで住宅用途に変更された場合、車両・船舶の備品としての使用等）
②お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことによる不具合
（例えば塩素系の洗浄剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用、水道法に定められた水質基準に適合しない水による不具合、お手入れ不足による汚れの付着・カビの発生・腐食・水ぶくれ、扉ヒンジがゆるんだままでの使用による扉の外れ、ご使用上のお願いに記載の事項に反した使い方によるカウンターやボウル・キャビネットなどの割れ・欠け・キズ・汚れ・変色・変形等）
③お客様自身、またはお客様のご指示による取付設置または移動（移設）、分解、改造などに起因する不具合
④建築躯体、関連設備工事など商品以外の不具合による商品の不具合
⑤水垢、赤水（錆）等給水側の供給事情や、配管不備による不具合
⑥犬、猫、鳥、鼠などの動物や羽ありなどの昆虫の行為による不具合
⑦部品、製品の経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる不具合
（例えば、塗装品の色あせ、木製品の反り、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色等）
⑧消耗部品の消耗に起因する不具合
（例えば、電球類、パッキン、吸込口カバー、フィルター、噴流ユニット等の不具合）
⑨火災、爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害などの天変地異または公害・異常水圧・異常水質・指定以外の電源（電圧・周波数）・塩害・凍結・結露・温泉地域の腐食性空気、その他の異常な外部環境による不具合
⑩当社の手配によらない業者の輸送上、加工上、組立て上、取付設置上、管理上、メンテナンス上などの不備による不具合
（例えば、クリーニング業者による指定外のクリーニング剤使用による変色や腐食、業者様の養生不足による変色や腐食など）
⑪ご転居、住宅の譲渡などで、本書に表示されているお客様と所有されているお客様とが異なる場合
⑫取付設置引き渡し後の場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷などの不具合
⑬保証対象商品の取付設置説明書や警告表示に反する取付設置を行ったことに起因する不具合

4．特記事項

①本書は日本国内においてのみ有効です。ただし、離島及びこれに準じる遠隔地に出張した場合は、出張に要した費用を申し受けます。
②本書の提示が無い場合は、保証期間を出荷月起算といたします。
③本書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは当社または販売店以外が字句を書き換えられた場合には、保証期間を出荷月起算といたします。
④ご転居、住宅の譲渡などで、本書に表示されているお客様と所有されているお客様とが異なる場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
⑤本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合は、当社お客様相談窓口にご相談ください。

※本書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明な場合は、お買い上げの販売店または、当社お客様相談窓口にお問合わせください。

トクラス株式会社
〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370

お客様相談窓口

商品についてのご相談 フリーコール 0120-808-194

●受付時間／月～金 9：00 ～ 17：30（祝日、夏期休業・年末年始を除く）

修理のご相談 フリーコール 0120-119-555

●受付時間／月～金 9：00 ～ 17：30　土・日・祝日 夏期休業・年末年始 9：00 ～ 17：00

お電話は、内容確認およびサービスの向上等を目的として、保存（録音）させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針の詳細は、当社ホームページをご覧ください。

トクラス株式会社
〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370

2305-ZWTATRSKY05